

経営学部

【経営学部経営学科科目一覧を見る時の注意事項】

科目一覧を見る前に必ず読んで下さい。

年次に「1」とあるものは、2000年度以降入学の学生の指定年次に対応。それ以外（「2」以上の表記があるもの）は、1999年度以前入学の学生の指定年次に対応。1999年度以前入学の学生が、年次の表記「1」の科目を履修することは、履修不可科目を除き可能。（備考欄参照）

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
必修科目 (左記は2000年度以降入学の学生に対応。1999年度以前入学の学生は、備考欄を参照。〈営：経営コース/国：国際コース〉)						
711	経営演習 I	通年	4	3	藤井 達敬	営：選必 国：履修不可
711	経営演習 I	通年	4	3	高橋 弘一	

表内の**必修科目、選択必修科目、選択科目、自由科目**などの科目分類の表記は、2000年度以降入学の学生に対応している。1999年度以前入学の学生は、備考欄の科目分類を参照すること。
 なお、1999年度以前入学の学生のみ履修できる科目群は、科目一覧の末尾にある。

1999年度以前入学の学生は、備考欄の科目分類表記を参照して授業登録をすること。

上表の例は、

「**経営コースは、選択必修科目として履修できるが、国際コースは、履修不可の科目である**」

という意味。

科目一覧中の略語の正式名称は以下の通り。

営→経営コース	国→国際コース
必	→ 必修科目
選必	→ 選択必修科目
選・A	→ 選択科目 (A群)
選・B	→ 選択科目 (B群)
選	→ 選択科目
自由	→ 自由科目
随意	→ 随意科目

- * 科目一覧は、科目コード順にならんでいる。講義概要も科目コード順にならんでいるので講義概要の索引として用いるとよい。
- * 1999年度以前入学の学生は、科目分類に どういう科目があるか調べたい時（例：選択必修科目はどんな科目があるか）は、履修要項（別冊）を参照すること。
- * 1999年度以前入学の学生は、科目名称が 前年度までと変更になっているものがあるので、**新旧カリキュラム対照表**をよく見ること。

経営学部経営学科科目一覧

1999年度以前入学者は、科目名称が前年度と異なるものがあるので、新旧カリキュラム対照表を参照すること。

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考	
必修科目 (左記は2000年度以降入学の学生に対応。1999年度以前入学の学生は、備考欄を参照。〈営：経営コース/国：国際コース〉)							
71101	経営演習Ⅰ	通年	4	3	藤井 達敬	営：選必 国：履修不可	
71102	経営演習Ⅰ	通年	4	3	高橋 弘一		
71103	経営演習Ⅰ	通年	4	3	飯田 穆		
71104	経営演習Ⅰ	通年	4	3	藤原 道夫		
71105	経営演習Ⅰ	通年	4	3	村本 正生		
71106	経営演習Ⅰ	通年	4	3	薫 祥哲		
71107	経営演習Ⅰ	通年	4	3	湯本 祐司		
71108	経営演習Ⅰ	通年	4	3	徳永 俊史		
71121	経営演習Ⅱ	通年	4	4	藤井 達敬		
71122	経営演習Ⅱ	通年	4	4	高橋 弘一		
71123	経営演習Ⅱ	通年	4	4	藤原 道夫		
71124	経営演習Ⅱ	通年	4	4	加藤 英明		
71125	経営演習Ⅱ	通年	4	4	村本 正生		
71126	経営演習Ⅱ	隔週	4	4	岩城 秀樹		
71127	経営演習Ⅱ	通年	4	4	薫 祥哲		
71128	経営演習Ⅱ	通年	4	4	湯本 祐司		
71129	経営演習Ⅱ	通年	4	4	高橋 潔		
選択必修科目 (左記は2000年度以降入学の学生に対応。1999年度以前入学の学生は、備考欄を参照。〈営：経営コース/国：国際コース〉)							
71401	基礎演習(情報基礎)	春学期	2	1	村本 正生		営：履修不可 国：履修不可
71402	基礎演習(情報基礎)	春学期	2	1	薫 祥哲		
71403	基礎演習(情報基礎)	春学期	2	1	徳永 俊史		
71404	基礎演習(情報基礎)	春学期	2	1	湯本 祐司		
71405	基礎演習(情報基礎)	春学期	2	1	安藤 史江		
71406	基礎演習(情報基礎)	春学期	2	1	高橋 潔		
71411	基礎演習(外書講読)A	秋学期	2	1	藤井 達敬	営：選必 国：必	
71412	基礎演習(外書講読)A	秋学期	2	1	徳永 俊史		
71413	基礎演習(外書講読)A	秋学期	2	1	高橋 弘一		
71414	基礎演習(外書講読)A	秋学期	2	1	飯田 穆		

経営学部 経営学科

科目 コード	授 業 科 目	開講形態	単 位	年 次	担 当 者	備 考
71415	基礎演習 (外書講読) A	秋学期	2	1	石 黒 真 吾	営：選必 国：必
71416	基礎演習 (外書講読) A	秋学期	2	1	安 藤 史 江	
71419	ビジネス英語ⅠA1	春学期	1	1	S. Catto	営：履修不可 国：必
71420	ビジネス英語ⅠA2	春学期	1	1	D. Rines	
71421	ビジネス英語ⅠA3	春学期	1	1	M. Fenwick	
71422	ビジネス英語ⅠB1	春学期	1	1	P. Mason	
71423	ビジネス英語ⅠB2	春学期	1	1	P. Binford	
71424	ビジネス英語ⅠB3	春学期	1	1	K. Yasuda	
71425	ビジネス英語ⅡA1	秋学期	1	1	S. Catto	
71426	ビジネス英語ⅡA2	秋学期	1	1	D. Rines	
71427	ビジネス英語ⅡA3	秋学期	1	1	M. Fenwick	
71428	ビジネス英語ⅡB1	秋学期	1	1	P. Mason	
71429	ビジネス英語ⅡB2	秋学期	1	1	P. Binford	
71430	ビジネス英語ⅡB3	秋学期	1	1	K. Yasuda	
71431	商業簿記Ⅰ	春学期	2	1	亀 井 孝 文	
71433	商業簿記Ⅱ	秋学期	2	1	亀 井 孝 文	
71436	情報処理A1	秋学期	2	1	村 本 正 生	営：履修不可 国：履修不可
71437	情報処理A2	秋学期	2	1	村 本 正 生	
71441	経済原論Ⅰ1	春学期	2	1	多 和 田 眞	営：選必 国：自由
71442	経済原論Ⅰ2	春学期	2	1	成 生 達 彦	
71446	経済原論Ⅱ1	秋学期	2	1	多 和 田 眞	
71447	経済原論Ⅱ2	秋学期	2	1	成 生 達 彦	
71451	数学Ⅰ1	春学期	2	1	春 藤 修 二	営：選必 国：自由
71452	数学Ⅰ2	春学期	2	1	春 藤 修 二	
71453	数学Ⅰ3	春学期	2	1	春 藤 修 二	
71456	数学Ⅱ1	秋学期	2	1	春 藤 修 二	
71457	数学Ⅱ2	秋学期	2	1	春 藤 修 二	
71458	数学Ⅱ3	秋学期	2	1	春 藤 修 二	
71461	経営学総論A1 (1年次)	春学期	2	1	大 津 誠	営・国：履修不可
71462	経営学総論A2 (2年以上)	春学期	2	2~4	岸 田 民 樹	営：選・A / 国：選必

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
71466	経営学総論B1(1年次)	秋学期	2	1	大津 誠	営・国：履修不可
71467	経営学総論B2(2年生以上)	秋学期	2	2~4	岸田 民樹	営：選・A/国：選必
71471	会計原理I1	春学期	2	1	藤井 達敬	営：選必 国：選必
71472	会計原理I2	春学期	2	1	高橋 弘一	
71473	会計原理I3(他学科用)	春学期	2	1~4	飯田 穆	
71476	会計原理II1	秋学期	2	1	藤井 達敬	
71477	会計原理II2	秋学期	2	1	高橋 弘一	
71478	会計原理II3(他学科用)	秋学期	2	1~4	飯田 穆	
71481	基礎演習(外書講読)B	不開講	2	2		
71482	基礎演習(外書講読)B	不開講	2	2		
71483	基礎演習(外書講読)B	不開講	2	2		
71484	基礎演習(外書講読)B	不開講	2	2		
71485	基礎演習(外書講読)B	不開講	2	2		
71486	基礎演習(外書講読)B	不開講	2	2		
71491	基礎演習(プレゼミナール)	秋学期	2	2	高橋 弘一	営：選必 国：履修不可
71492	基礎演習(プレゼミナール)	秋学期	2	2	徳永 俊史	
71493	基礎演習(プレゼミナール)	秋学期	2	2	湯本 祐司	
71494	基礎演習(プレゼミナール)	秋学期	2	2	石黒 真吾	
71495	基礎演習(プレゼミナール)	秋学期	2	2	安藤 史江	
71496	基礎演習(プレゼミナール)	不開講	2	2		
71501	ビジネス英語III A	不開講	1	2		
71502	ビジネス英語III B	不開講	1	2		
71506	ビジネス英語IV A	不開講	1	2		
71507	ビジネス英語IV B	不開講	1	2		
71511	工業簿記I	不開講	2	2		
71513	工業簿記II	不開講	2	2		
71516	情報処理B1	不開講	2	1		
71517	情報処理B2	不開講	2	1		

経営学部 経営学科

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
71521	経営数学	春学期	2	2~4	石黒 真吾	営：選・B／国：自由 営：選必 国：選 営：選・A 国：履修不可 営：選・A 国：履修不可 営：選・A 国：選必 営：選・B 国：選 営：選・A 国：自由 営：選・B 国：自由
71531	統計学Ⅰ	春学期	2	2	木村 美善	
71532	統計学Ⅰ	不開講	2	2		
71536	統計学Ⅱ	秋学期	2	2	木村 美善	
71537	統計学Ⅱ	不開講	2	2		
71541	経営労務論AⅠ〔経営コース〕	春学期	2	2~4	高橋 弘司	
71543	経営労務論B〔経営コース〕	秋学期	2	2~4	高橋 弘司	
71546	経営財務論A〔経営コース〕	春学期	2	2~4	徳永 俊史	
71548	経営財務論BⅠ〔経営コース〕	秋学期	2	2~4	徳永 俊史	
71551	マーケティング論A	秋学期	2	2~4	中田 善啓	
71553	マーケティング論B	秋学期	2	2~4	中田 善啓	
71561	経営統計学	不開講	2	2		
71571	データ解析（組織・労務）	秋学期	2	3・4	安藤 史江	
71573	データ解析（財務）〔国際コース〕	春学期	2	3・4	M. Bremer	
71575	データ解析（マーケティング）	春学期	2	3・4	湯本 祐司	
71577	データ解析（会計）	秋学期	2	3・4	奥村 雅史	
71579	データ解析（企業）	春学期	2	3・4	薫 祥哲	
選択科目 （左記は2000年度以降入学の学生に対応。1999年度以前入学の学生は、備考欄を参照。〈営：経営コース／国：国際コース〉）						
71601	経営組織論A	春学期	2	2~4	安藤 史江	営：選・A 国：自由 営：選・B 国：自由
71603	経営組織論B	秋学期	2	2~4	安藤 史江	
71605	資本市場論A	不開講	2	2~4		
71607	資本市場論B	不開講	2	2~4		
71609	流通論A	春学期	2	2~4	成生 達彦	
71611	流通論B	秋学期	2	2~4	成生 達彦	
71613	財務会計論A	春学期	2	2~4	藤井 達敬	
71615	財務会計論B	秋学期	2	2~4	藤井 達敬	
71617	株式会社会計論A	春学期	2	2~4	高橋 弘一	
71619	株式会社会計論B	秋学期	2	2~4	高橋 弘一	
71621	原価計算論A	春学期	2	3・4	奥村 雅史	
71623	原価計算論B	秋学期	2	3・4	奥村 雅史	

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
71631	経営史A	不開講	2	2~4		営：選・B 国：自由
71633	経営史B	不開講	2	2~4		
71635	企業論A	春学期	2	3・4	石黒 真吾	営：選・A 国：自由
71637	企業論B	秋学期	2	3・4	石黒 真吾	
71639	経営管理論A	春学期	2	2~4	岸田 民樹	営：選・B 国：選必(3年次より履修可)
71641	経営管理論B	秋学期	2	2~4	岸田 民樹	
71643	経営環境論A	春学期	2	2~4	薫 祥哲	営：選・B 国：選必(3年次より履修可)
71645	経営環境論B	秋学期	2	2~4	薫 祥哲	
71647	経営情報論A	春学期	2	2~4	黒岩 恵	営：選・B 国：自由
71649	経営情報論B	秋学期	2	2~4	黒岩 恵	
71651	経営倫理1 [英語講義]	春学期	2	2~4	P. LaForge	営：選・B 国：選必(3年次より履修可)
71652	経営倫理2 [日本語講義]	秋学期	2	2~4	P. LaForge	
71671	労使関係論A	春学期	2	3・4	藤原 道夫	営：選・B 国：自由
71673	労使関係論B	秋学期	2	3・4	藤原 道夫	
71675	組織心理学A	不開講	2	3・4		営：選・B 国：自由
71677	組織心理学B	不開講	2	3・4		
71679	国際人事管理論A	不開講	2	3・4		営：選・B 国：自由
71681	国際人事管理論B	不開講	2	3・4		
71683	投資論A	夏期集中	2	3・4	岩城 秀樹	営：選・B 国：自由
71685	投資論B	夏期集中	2	3・4	岩城 秀樹	
71687	国際財務論A	不開講	2	3・4		営：選・B 国：自由
71689	国際財務論B	不開講	2	3・4		
71691	金融派生商品論	不開講	2	3・4		営：選・B 国：自由
71693	マーケティング・マネジメントA	春学期	2	3・4	湯本 祐司	
71695	マーケティング・マネジメントB	春学期	2	3・4	湯本 祐司	営：選・B 国：自由
71697	市場調査論A	不開講	2	3・4		
71699	市場調査論B	不開講	2	3・4		営：選・B 国：自由
71701	管理会計論A	不開講	2	3・4		
71703	管理会計論B	不開講	2	3・4		営：選・B 国：自由
71705	監査論A	春学期	2	3・4	友杉 芳正	

経営学部 経営学科

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
71707	監査論B	秋学期	2	3・4	友杉 芳正	営：選・B 国：自由
71709	経営分析論A	春学期	2	3・4	飯田 穆	
71711	経営分析論B	秋学期	2	3・4	飯田 穆	
71713	税務会計論A	春学期	2	3・4	藤井 達敬	
71715	税務会計論B	秋学期	2	3・4	藤井 達敬	
71721	グローバル・ビジネス論A	夏期集中	2	3・4	中川 多喜雄	
71723	グローバル・ビジネス論B	夏期集中	2	3・4	中川 多喜雄	
71725	経営戦略論A	不開講	2	3・4		
71727	経営戦略論B	不開講	2	3・4		
71729	国際比較経営論A	不開講	2	3・4		
71731	国際比較経営論B	不開講	2	3・4		
71733	オペレーションズ・リサーチA	春学期	2	2~4	澤木 勝茂	営：自由 国：自由
71735	オペレーションズ・リサーチB	秋学期	2	2~4	穴太 克則	
71741	英語ビジネスディスカッションA	不開講	2	3・4		営：自由 国：自由
71744	英語ビジネス・ディスカッションB	不開講	2	3・4		
71747	英語ビジネス論文作成法A	不開講	2	3・4		
71750	英語ビジネス論文作成法B	不開講	2	3・4		
71791	現代産業論（総合商社論）1	春学期	2	3・4	松井 清治	
71792	現代産業論（総合商社論）2	秋学期	2	3・4	松井 清治	
71794	現代産業論（都市銀行論）1	春学期	2	3・4	高木 夏樹	
71795	現代産業論（都市銀行論）2	秋学期	2	3・4	高木 夏樹	
71797	現代産業論（損害保険論）1	春学期	2	3・4	清登 緑郎	
71798	現代産業論（損害保険論）2	秋学期	2	3・4	清登 緑郎	
71800	現代産業論（電子・電機産業論）1	春学期	2	3・4	三田 良治	
71801	現代産業論（電子・電機産業論）2	秋学期	2	3・4	三田 良治	
71803	現代産業論（自動車産業論）1	春学期	2	3・4	願興寺 皓之	
71804	現代産業論（自動車産業論）2	秋学期	2	3・4	願興寺 皓之	
71806	現代産業論（起業論）1	春学期	2	3・4	森 宏之・上野 允久	
71807	現代産業論（起業論）2	秋学期	2	3・4	森 宏之・上野 允久	
71809	現代産業論（先輩経営者と語る）1	春学期	2	3・4	藤井 達敬	

科目 コード	授 業 科 目	開講形態	単 位	年 次	担 当 者	備 考
71810	現代産業論(先輩経営者と語る)2	秋学期	2		藤 井 達 敬	} 営:自由 国:自由 } 経営労務論Aで充当 } 経営労務論Bで充当
71821	職業指導A		2	3・4		
71823	職業指導B		2	3・4		
71831	経営学特殊講義A	不 開 講	2			} 経済学部開講科目 } 営:自由 国:自由
71833	経営学特殊講義B	不 開 講	2			
51735	金融論 I	春学期	2	2~4	荒 井 好 和	
51737	金融論 II	秋学期	2	2~4	荒 井 好 和	
51765	国際経済学 I	春学期	2	2~4	山 田 正 次	
51767	国際経済学 II	秋学期	2	2~4	山 田 正 次	
51751	産業組織論 A	不 開 講	2			
51753	産業組織論 B	不 開 講	2			
51851	商法 I	春学期	2	3・4	田 中 裕 明	
51855	商法 II	秋学期	2	3・4	田 中 裕 明	
51741	労働経済学 I	春学期	2	3・4	村 松 久 良 光	
51743	労働経済学 II	秋学期	2	3・4	村 松 久 良 光	
51841	民法 I	春学期	2	2~4	松 倉 耕 作	
51845	民法 II	秋学期	2	2~4	松 倉 耕 作	
51871	労働法 I	春学期	2	3・4	唐 津 博	
51875	労働法 II	秋学期	2	3・4	唐 津 博	
51861	経済法 I	春学期	2	3・4	田 中 裕 明	
51865	経済法 II	秋学期	2	3・4	田 中 裕 明	
51881	行政法 I	春学期	2	3・4	栗 本 雅 和	
51885	行政法 II	秋学期	2	3・4	栗 本 雅 和	
自由科目						
71841	英語ビジネス論文作成指導 1	秋学期	2	4	P. Binford	} 営:履修不可 国:選
71842	英語ビジネス論文作成指導 2	秋学期	2	4	M. Bremer	
71843	英語ビジネス論文作成指導 3	秋学期	2	4	A. Iaquinto	
71844	英語ビジネス論文作成指導 4	秋学期	2	4	M. Fenwick	
71845	英語ビジネス論文作成指導 5	秋学期	2	4	B. Deacon	
09320	商業科教育法 A	夏期集中	2	3	大 倉 芳 雄	} 営:随意 国:随意

経営学部 経営学科

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
09325	商業科教育法B	夏期集中	2	3	大倉 芳雄	営：随意 国：随意
経営コース用 (1999年度以前入学の学生に対する旧カリキュラム開講科目)						
71851	外書講読1	春学期	2	2	徳永 俊史	営：選必 国：履修不可
71852	外書講読2	春学期	2	2	飯田 穆	
71853	外書講読3	春学期	2	2	藤井 達敬	
71854	外書講読4	春学期	2	2	石黒 真吾	
71855	外書講読5	春学期	2	2	安藤 史江	
国際コース用 (1999年度以前入学の学生に対する旧カリキュラム開講科目)						
71901	英語Ⅱ (読解および作文) 1	通年	4	2	P. Binford	営：履修不可 国：必
71902	英語Ⅱ (読解および作文) 2	通年	4	2	P. Mason	
71903	英語Ⅱ (読解および作文) 3	通年	4	2	M. Fenwick	
71911	国際ビジネス論Ⅱ	春学期	4	2	大津 誠	営：自由 国：必
71913	国際ビジネス論Ⅲ	春学期	4	2	A. Iaquinto	
71916	英語Ⅲ (論文作成法) 1	春学期	4	3	K. Yasuda	営：履修不可 国：必
71917	英語Ⅲ (論文作成法) 2	秋学期	4	3	K. Yasuda	
71918	英語Ⅲ (論文作成法) 3	春学期	4	3	D. Rines	営：履修不可 国：必
71919	英語Ⅲ (論文作成法) 4	秋学期	4	3	D. Rines	
71921	テーマ・ディスカッション1	春学期	4	3	P. Mason	
71922	テーマ・ディスカッション2	秋学期	4	3	P. Mason	
71923	テーマ・ディスカッション3	春学期	4	3	D. Rines	営：履修不可 国：必
71924	テーマ・ディスカッション4	秋学期	4	3	D. Rines	
71926	国際経営基礎研究1	春学期	2	3	大津 誠	
71927	国際経営基礎研究2	秋学期	2	3	大津 誠	
71931	国際経営研究1	通年	4	4	大津 誠	営：履修不可／国：選必
71932	国際経営研究2	通年	4	4	井上 詔三	
71933	国際経営研究3	通年	4	4	加藤 英明	
71934	国際経営研究4	通年	4	4	M. Bremer	
71935	国際経営研究5	通年	4	4	A. Iaquinto	
71941	経営労務論A2	秋学期	4	2~4	高橋 潔	営：履修不可／国：選必
71945	北米における経営	秋学期	4	2~4	M. Bremer	

科目 コード	授 業 科 目	開講形態	単 位	年 次	担 当 者	備 考
71947	アジアにおける経営	夏期集中 秋学期	4	2~4	井 上 詔 三	営：自由／国：選必
71953	経営財務論 A 2	春学期	4	3・4	M. Bremer	営：履修不可／国：選必
71955	国際人事管理論	春学期	4	3・4	井 上 詔 三	営：自由／国：選必
71957	国際財務論 B 2	秋学期	4	3・4	M. Bremer	営：履修不可／国：選必
71959	日本の経営	秋学期	4	3・4	A. Iaquinto	営：自由 国：選必
71961	国際経営戦略論	春学期	4	3・4	大 津 誠	
71963	国際マーケティング論	秋学期	4	3・4	A. Iaquinto	
71971	ビジネス英語 A 1	春学期	2	3・4	M. Fenwick	営：自由 国：選
71972	ビジネス英語 A 2	春学期	2	3・4	S. Pertersen	
71973	ビジネス英語 B 1	秋学期	2	3・4	M. Fenwick	
71974	ビジネス英語 B 2	秋学期	2	3・4	S. Pertersen	
71981	時事英語 A	春学期	2	3・4	S. Pertersen	
71982	時事英語 B	春学期	2	3・4	P. Binford	
71983	時事英語 C	春学期	2	3・4	P. Tanner	
71984	時事英語 D	春学期	2	3・4	M. Fenwick	
71985	時事英語 E	秋学期	2	3・4	S. Pertersen	
71986	時事英語 F	秋学期	2	3・4	P. Tanner	
71987	時事英語 G	秋学期	2	3・4	M. Fenwick	

經 營 学 部

經營学科

【経営学部経営学科講義概要を見る時の注意事項】

講義概要を見る前に必ず読んで下さい。

年次に「1」とあるものは、2000年度以降入学の学生の指定年次に対応。
それ以外（「2」以上の表記があるもの）は、1999年度以前入学の学生の指定年次に対応。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71441 71446	経済原論 I 1・II 1	選必	春学期 秋学期	各2	1	多和田 眞
他の科目との関連						他学科履修

年次欄に「1」とある場合、2000年度以降入学の学生対象の科目分類を表記。
それ以外（「2」以上の表記があるもの）は、1999年度以前入学の学生対象の科目分類を表記。1999年度以前入学の学生が、年次の表記「1」の科目を履修する場合、科目一覧の備考欄を参照し、履修可能かどうか確認すること。
科目一覧中の略語の正式名称は以下の通り。

営→ 経営コース 国→ 国際コース

必 → 必修科目
選必 → 選択必修科目
選・A → 選択科目（A群）
選・B → 選択科目（B群）
選 → 選択科目
自由 → 自由科目

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71101	経営演習 I	営:選必 国:不可	通年	4	3	藤井 達敬	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 財務会計論

【講義内容】 春学期では、2年次までに学んできた経営学総論、会計原理等で習得した知識を総合的に復習することに努め、現代社会における企業の役割、機能から始めて、企業活動の諸側面に焦点をあてて理解を深める。秋学期では、春学期で学んだ知識を基礎に会計学の中でも会計原則論とよばれる領域に焦点をあてて勉強する。特に日本の会計原則の形成に大きな影響を与えたアメリカの会計原則の形成過程から始めて、日本における会計原則の形成過程について勉強する。

なお、年間を通じてサブゼミナールを実施し、そこでは会計関連法規にもとづいた財務諸表の作成演習を行う。

【講義計画】 春学期では松田修一著、『会社の読み方入門』日本経済新聞社をテキストに、1. 会社の成立、2. 会社の組織、3. 会社の経営手法、4. トップマネジメントの機能について学ぶとともに、企業会計制度が会社でどのように運用されているかを学ぶ。

秋学期ではM. Moonitz著“Obtaining Agreement on Standards in Accounting Profession” AAAをテキストにアメリカにおける企業会計原則の形成過程に関する講読会を行う。その中で、日本における企業会計原則の形成過程についても学習する。

年間を通じて行うサブゼミでは財務諸表規則、計算書類規則、企業会計原則等の会計関連法規にもとづいて、財務諸表の作成演習を練習問題を解く形式で訓練する。

【評価方法】 演習ではサブゼミも含めて出席を重視し、レポートの提出で評価する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71102	経営演習 I	営:選必 国:不可	通年	4	3	高橋 弘一	
他の科目との関連	3・4年次に他の会計学主要科目も必ず履修すること。					他学科履修	不可

【副題】 会計理論および企業のディスクロージャー制度の研究

【講義内容】 本演習の課題は次の2つである。

1. 財務会計の理論と制度に関する学習および研究
2. 有価証券報告書を用いたわが国大企業の経営分析

【講義計画】 上記課題1に関しては、適宜論題を選定し、順次、報告担当者を指名する。報告担当者には報告用のレジュメの作成・配布が、他の学生にはレポートの提出が求められる。論題を例示すれば、次の通りである。

- ・財産法と損益法
- ・動態論と静態論
- ・発生主義会計の理論構造と資産評価
- ・商法上の「公正なる会計慣行」と「企業会計原則」
- ・継続性の原則の意義と会計処理の原則および手続きの変更
- ・低価法の論理と同法における時価の意義
- ・負債概念と条件付債務
- ・当期業績主義・包括主義と「企業会計原則」の損益計算書

課題2に関しては、各自選定した上場会社（数社の比較を含む）について、財務諸表分析を中心に、有価証券報告書を用いた経営分析を試みてもらう。この第2の課題は各自の自主研究とするが、適宜、授業の中で、作業の中間報告と分析結果の報告をしてもらう予定。

【評価方法】 報告の際のプレゼンテーション、質疑応答、レポート等を総合的に評価する。ゼミ行事の企画・運営への貢献も、評価の対象に含める。

【テキスト】 主教材：未定
副教材：中央経済社編『会計法規集（最新版）』中央経済社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71103	経営演習 I	営:選必 国:不可	通年	4	3	飯田 穆	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 財務会計演習

【講義内容】 財務会計理論の研究

【評価方法】 ゼミでの報告を中心にする。

【テキスト】 ゼミで指示する

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71104	経営演習 I	営:選必 国:不可	通年	4	3	藤原 道夫	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 「現代日本の経営と人事労務管理」

【講義内容】 企業についての基礎知識と経営労務についての基礎知識をまとめた後にテーマに沿って勉強していきます。
資料を模索したり、レポートを書くのを課題にする他に、必要に応じて口頭での発表をしてもらいます。
秋学期には、各自のテーマを決定して卒業論文の準備に入っていきます。ゼミ生は、時間割の上で可能ならば、私の担当するデータ解析を受講するようにして下さい。

【評価方法】 レポート、ゼミへの参加度などにより総合的に評価します。

【テキスト】 参考書：日本経済新聞社編『ゼミナール現代企業入門』
津田真澄著『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）
伊丹・加護野・伊藤編『人的資源』（リーディングス 日本の企業システム第3巻 有斐閣）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71105	経営演習 I	営:選必 国:不可	通年	4	3	村本 正生	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 マルチメディア社会と企業

【講義内容】 最近では、マルチメディア、インターネットの記事が新聞に出ていない日はないと言ってもよい。マルチメディアとかインターネットは一過性のものなのか、それとも定着した技術となるのだろうか。可能な限りこのような先端分野の真の姿を捕らえ、また、実際の利用を通して情報を収集し、これからの企業のあり方を探って行きたい。進歩の速い分野であり、何よりも、やる気と旺盛な好奇心が必要である。

【講義計画】 まずは最近の情報処理技術について概観し、基礎知識を学んだあと、できるだけ早い時期に研究するテーマを決定して、テーマについて学習したことを発表してもらい、講義を進めていく。授業時間以外にも計算機を利用して情報を収集解析することも必要になる。

【評価方法】 レポート、試験、発表、ゼミへの参加度など総合的に判断する。

【テキスト】 開講時に受講生の皆さんと相談の上決定したい。テキスト、新聞、雑誌を多数読むことになる。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71106	経営演習 I	営:選必 国:不可	通年	4	3	薫 祥 哲	
他の科目との関連	受講者は、データ解析と経営環境論を履修すること。					他学科履修	不可

【副題】 「環境便益評価論」

【講義内容】 環境資源管理、あるいは環境改善政策が広く議論される様になったが、これらの政策がどの程度の便益を一般消費者にもたらすかを客観的に分析しようという試みは、日本ではあまり進んでいない。その主な理由は、水資源や大気質の改善、あるいは動植物の保護問題に見られる様に、消費者が大切だと見なす環境資源を直接扱うマーケットが存在しないところにある。したがって、環境財からの便益は多くの場合、マーケットがもたらす均衡価格や均衡消費量の情報なしに行われなければならない。

アメリカおよびヨーロッパでは、色々な非市場評価法を用いて環境財からの便益が測定されている。その例としては、

- 1) 仮想的市場法 (Contingent Valuation Method)
- 2) トラベル・コスト法 (Travel Cost Method)
- 3) ヘドニック価格評価法 (Hedonic Valuation Method)

等があげられる。

このゼミでは、ミクロ経済学及び厚生経済学に基づき、環境便益の定義と測定法、そして、その実施例を検討する。英語の文献も使用する。環境便益測定例を討議する上で、一般的な統計及び計量経済学の知識を持っていることが望ましい。

【講義計画】 講義と、レポート報告の両方で進めていく。クラスでのディスカッションでは全員参加を前提とする。

【評価方法】 ゼミでの発表と、レポート内容の評価。

【テキスト】 テキスト：喜田良平監訳『環境評価の経済学』（多賀出版、1994）
栗山浩一『公共事業と環境の価値』（築地書館、1997）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71107	経営演習 I	営:選必 国:不可	通年	4	3	湯本 祐 司	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 ブランド・マネジメント

【講義内容】 ブランドは企業にとってかけがいのない資産であり、いかにして強いブランドを構築・維持していくかは企業にとって非常に重要な課題である。下記のテキスト等を用いて、有効なブランド管理をするためにはどうしたらよいかを考えていく。また、各自業界あるいは企業をひとつ選択して調査してもらう。

【評価方法】 報告、レポート、ゼミへの貢献等から総合的に評価する。

【テキスト】 D. A. アーカー『ブランド・エクイティ戦略』ダイヤモンド社、1994年。
D. A. アーカー『ブランド優位の戦略』ダイヤモンド社、1997年。
青木幸弘他編著『最新ブランド・マネジメント体系』日本経済新聞社、1997年。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71108	経営演習 I	営:選必 国:不可	通年	4	3	徳永 俊史	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 本演習では、証券市場に関する理解を深めることを主目的とする。そのために、証券市場をとりまく話題を多角的に考察する。具体的には、i) 証券市場の役割、ii) 組織、iii) 参加者（発行者と投資家）、iv) 証券価格決定のメカニズムと実際の価格変動、を中心に理解することを目標とする。
また、証券市場に関する統計値から何が読み取れるのかにも絶えず注意を払うことで、より実践的な洞察力を身につけることを望む。

【講義計画】 あらかじめ各テーマの担当者を決め、その調査結果を報告してもらう。そして、その内容について参加者全員で議論する。

【評価方法】 各自の報告内容により評価する。

【テキスト】 蟻山昌一編『実践ゼミナール 証券・金融・ファイナンス』 東洋経済新報社。を基礎に関連する資料を毎回事前に配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71401 71402 71403 71404 71405 71406	基礎演習（情報基礎）	選必	春学期	2	1	村本 正生 薫 祥哲 徳永 俊史 湯本 祐司 安藤 史江 高橋 潔	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 経営学部での学習・研究にどのような情報が必要とされ、どう活用していくかを中心課題と考える。本講義では、情報処理機器の操作技能習得と問題発見・解決能力の習得を計り、かつまた高学年になったときコンピュータを道具として有効活用するスキルを身につける。併せて、広く情報化社会の恩恵と脆弱さを学び、情報化社会への洞察力を養う。したがって、初学年次生を対象にしたものである。扱う内容は、ワードプロセッサ、表計算、情報検索、インターネット、情報倫理などである。

【講義計画】 コンピュータ操作を中心に、基本的なネットワークシステムの概念と操作方法を学ぶ。

1. コンピュータの仕組み
2. オペレーティングシステムの役割
3. 文書処理（ワードプロセッサ）
日本語変換
文書編集
印刷
4. インターネット
Webの閲覧
電子メール
5. 表計算
グラフ
データベース
6. プレゼンテーション
7. 情報セキュリティと情報倫理

【評価方法】 テーマごとに課題を出す。提出された結果と日頃の出席状況をもとに総合評価する。

【テキスト】

【その他】 授業では、基本的な手ほどきをするだけです。身につくかどうかは履修生のみなさんの熱意によってい

ます。情報機器を便利な道具として使いこなせるよう努力されることを切に期待します。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71411) 71416	基礎演習（外書講読）A	選必	秋学期	2	1	藤井 達敬 徳永 俊史 高橋 弘一 飯田 穆 石黒 真吾 安藤 史江
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 経営学の諸分野で使われる英語文献の読解能力の基礎を養うことを目的として、アメリカにおける代表的な経営学の入門書である下記のテキストを講読する。授業は単なる英文和訳ではなく、英文の大意をパラグラフ毎に理解する速読方式で進められる。内容はビジネス及び経営の基礎的概念や制度の理解に重点を置き、経営理論についても言及する。同じテキストを継続して使う「基礎演習（外書講読）B」を2年生の春学期に履修することにより、英語読解能力を伸ばしながら幅広く経営学の分野を学べる。

【講義計画】 具体的な講義計画については、各教員毎に授業の最初の時間に示されるが、概ね「基礎演習（外書講読）A」と「基礎演習（外書講読）B」において以下のようなPARTを講読する予定である。

- 基礎演習（外書講読）A
1. Introducing the Contemporary Business Environment
 2. The Business of Managing
 3. Understanding People in Organizations
- 基礎演習（外書講読）B
4. Understanding Principles of Marketing
 5. Managing Operations and Information
 6. Understanding Financial Issues

【評価方法】 試験、レポート、授業参加度等の成績で評価するが、より具体的な評価方法については授業開始時に各教員が指示する。

【テキスト】 Griffin, Ricky W. and Ronald J. Ebert, BUSINESS, fifth edition, Prentice Hall International, Inc., 1999.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71419 71420 71421	ビジネス英語 I A（会話）1・2・3	選必	春学期	1	1	S. Catto D. Rines M. Fenwick
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副題】 Business English I A (Oral Communication)

【講義内容】 Business English I A (Oral Communication) is the first in a series of four oral communication classes. Business English I A is followed by Business English II A, III A, and IV A. The goal of these classes is to improve students' speaking and listening skills and to increase their self-confidence in using English for communication. Activities may include pair and small group discussion, interviews, role plays, individual oral presentations, group presentations, and audiotape and video activities. Topics tend to be more general, from daily life and the current news, for example. Homework is required. We ask that students make their best effort to use as much English as possible in this class. Please come to class motivated and ready to use English.

(This class will meet twice a week, on Tuesdays and Fridays. On Tuesdays, the title of the class is Business English I A (Oral Communication). On Fridays, the title of the class is Oral Communication I.)

【評価方法】 Each teacher will evaluate and grade students according to their own criteria. This could include:

- Attendance and participation in classroom exercises and activities
- Oral reports or examinations
- Written reports and examinations
- Group projects
- Homework
- Journals

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 The textbooks will be announced at a later date.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71422 71423 71424	ビジネス英語 I B (読解および作文) 1・2・3	選必	春学期	1	1	P. Mason P. Binford K. Yasuda
他の科目との関連						他学科履修不可

【副題】 Business English I B (Reading)

【講義内容】 Business English I B is the first in a series of four reading and writing classes. Business English I B is followed by Business English II B, III B, and IV B. The purpose of this series of classes is to develop high-level skills in reading and writing for academic and business purposes. The reading component includes practice in reading for speed, accuracy, and understanding. The writing component includes practice in English sentence structure, and in paragraph, essay, and letter writing. Students will also learn "process writing": how to evaluate, proof-read, edit, and rewrite their own compositions.

In Business English I B, students will learn how to write paragraphs in English. Paragraphs are the basic "building blocks" that longer essays are made of. It is therefore important that students have a strong foundation in this important skill. This course will include instruction and practice in writing topic sentences, supporting sentences, and summary sentences (conclusion). There will be practice in various types of paragraph organization: description, cause and effect, comparison and contrast, argumentation, and others. Students will also be introduced to word-processing and the use of computers for writing. By the end of the semester all essays must be typed. Lessons will also include practice in reading for speed, accuracy, and understanding.

(This class will meet twice a week, on Mondays and Thursdays. On Mondays, the title of the class is Reading I. On Thursdays, the title of the class is Business English I B (Reading).)

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.

【評価方法】 The method of evaluation differs with each teacher. The possibilities are as follows:

- Compositions
- Attendance and participation
- Written examinations
- Oral reports or examinations

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 The textbooks will be announced at a later date.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71425 71426 71427	ビジネス英語ⅡA（会話）1・2・3	選必	秋学期	1	1	S. Catto D. Rines M. Fenwick
他の科目との関連						他学科履修不可

【副題】 Business English II A (Oral Communication)

【講義内容】 Business English II A (Oral Communication) is the second in a series of four English conversation classes. (For a further explanation of this series, see the course description for Business English I A (Oral Communication).) This course will continue to build upon many of the skills discussed and practiced in Business English I A (Oral Communication). Goals and activities for this course will be much the same as the goals and activities in Business English I A (Oral Communication).

(This class will meet twice a week, on Tuesdays and Fridays. On Tuesdays, the title of the class is Business English II A (Oral Communication). On Fridays, the title of the class is Oral Communication II.)

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.

【評価方法】 Each teacher will evaluate and grade students according to their own criteria. This could include:

- Attendance and participation in classroom activities and exercises
- Oral reports or examinations
- Written reports and examinations
- Group projects
- Homework
- Journals

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 The textbooks will be announced at a later date.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71428 71429 71430	ビジネス英語ⅡB（読解および作文） 1・2・3	選必	秋学期	1	1	P. Mason P. Binford K. Yasuda
他の科目との関連						他学科履修不可

【副題】 Business English II B (Writing)

【講義内容】 Business English II B is the second in a series of four reading and writing classes. (For a further explanation of this series, see the course description for Business English I B (Reading).) Business English II B will review and build upon many of the skills discussed and practiced in Business English I B. Students will then be introduced to the composition of multi-paragraph essays. Topics will include: writing a thesis statement, introductory paragraph, supporting paragraphs, and concluding paragraph. Students may also have practice in writing formal letters in English. All written assignments for this class must be typed. Lessons will also include practice in reading for speed, accuracy, and understanding.

(This class will meet twice a week, on Mondays and Thursdays. On Mondays, the title of the class is Writing I. On Thursdays, the title of the class is Business English II B (Writing).)

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.

【評価方法】 The method of evaluation differs with each teacher. The possibilities are as follows:

- Compositions
- Attendance and participation
- Written examinations

- Oral reports or examinations

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 The textbooks will be announced at a later date.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71431 71433	商業簿記Ⅰ・Ⅱ	選必	春学期 秋学期	各2	1	亀井 孝文
他の科目 との関連						他学科 履修 不可

【講義内容】 簿記の初学者を対象に、複式簿記の基礎概念および記帳原理を解説し、「商業簿記Ⅰ」で日本商工会議所簿記検定試験3級程度、「商業簿記Ⅱ」で同2級ないしそれ以上のレベルをめざすこととする。同時に、簿記が単なる記帳技術のみならず、特有の理論をも具有していることにも言及する。

【講義計画】

《商業簿記Ⅰ》

(1) 複式簿記の特徴・単式簿記との相違 (2) 簿記の基礎概念 (3) 簿記の基本構造
 (4) 仕訳・転記・仕訳帳・元帳 (5) 決算の処理① (6) 現金・預金勘定の取引処理
 (7) 商品売買取引の処理① (8) 商品売買取引の処理② (9) 債権・債務勘定の処理
 (10) 手形取引の処理 (11) 決算整理の意味と方法 (12) 決算の処理②

《商業簿記Ⅱ》

(1) 資本勘定の取引処理 (2) 損益の計算と処分 (3) 社債の処理 (4) 繰延資産の処理
 (5) 株式会社での財務諸表 (6) 単一仕訳帳制 (7) 分割仕訳帳制① (8) 分割仕訳帳制②
 (9) 特殊売買の取引処理 (10) 支店独立会計制度における取引処理と決算①
 (11) 支店独立会計制度における取引処理と決算② (12) 問題演習

【評価方法】 出席状況をかなり重視する。簿記は継続的な積み重ねの学習を必要とする。試験によって評価するが、欠席過多の者はそれぞれの学期末試験を受験できない。

【テキスト】 安平昭二著『簿記要論（四訂版）』、同文館 1999年、2,900円

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71436 71437	情報処理A1・2	選必	秋学期	2	1	村本 正生
他の科目 との関連						他学科 履修 不可

【講義内容】 基本的なコンピュータの操作を学んだ学生を対象に開く科目である。実社会で最も利用されている表計算ソフトExcelのさまざまな関数の利用法を学習した上で、Excelのプログラムとは何か、どんなことができるのか、どのように操作を自動化するのか、Excel VBAの概略を解説する。併せてプログラム作成を行うVisual Basic Editorの基本操作を解説する。具体的には、メニュー操作の自動化、データ入力操作の簡素化、オリジナルの関数の作成と利用、他のアプリケーションとの連携処理などを扱う。

【講義計画】

- Excelの関数
- VBAとは
- ワークシート操作
- ブック操作
- セル、セル範囲の操作
- エラー処理
- ファイル操作
- グラフ
- 印刷
- コーディング
- イベント

【評価方法】 テーマごとに課題を出す。提出された課題の出来具合と授業出席状況を考慮した上、総合評価する。

【テキスト】 資料を配布する。

【その他】 積み重ねの内容であるから、理解するためには毎回出席しなければならない。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71441 71446	経済原論Ⅰ・Ⅱ	選必	春学期 秋学期	各2	1	多和田 眞	
他の科目との関連	国際経済学・財政学・金融論等、経済学関係の科目を履修するための前提科目。					他学科履修可	経営学部のみ

【副題】 ミクロおよびマクロの基礎理論

【講義内容】 本講義は経済関係の専門科目や学ぶうえで必要となる経済学の基礎理論の習得を目的とするもので、前半は個々の経済主体の行動や市場のメカニズムに焦点をあてたミクロ経済論を扱い、後半は一国全体の経済のメカニズムと経済政策を内容とするマクロ経済理論をとりあげる。

【講義計画】 以下の順で講義を進める。
 前期
 (1)消費者行動の理論
 (2)企業行動の理論
 (3)市場の均衡とその意味
 (4)市場の失敗
 (5)国際貿易の理論
 後期
 (1)国民所得の決定
 (2)貨幣の需要と供給
 (3)財政・金融政策
 (4)失業とインフレーション
 (5)国際マクロ経済理論

【評価方法】 期末テストの総合評価による。

【テキスト】 多和田・尾崎編著『経済学の基礎』(中央経済社)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71442 71447	経済原論Ⅰ・Ⅱ	選必	春学期 秋学期	各2	1	成生 達彦	
他の科目との関連						他学科履修可	経営学部のみ

【副題】 ミクロおよびマクロの基礎理論

【講義内容】 本講義では、経営学を学ぶために必要な経済理論の修得を目的とする。そのため、講義内容はミクロ理論中心となっている。

【講義計画】

春学期 経済学と経営学 希少性原理と条件付き最大化 ミクロの基礎理論 主体均衡 市場均衡 応用ミクロ：産業組織論 企業間のインタラクション 価格差別と製品差別	秋学期 ミクロ経済学の拡張 リスクの経済学 情報の経済学 マクロ経済学 国民所得の決定 財政・金融政策
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

【評価方法】 筆記試験の成績

【テキスト】 丸山雅祥・成生達彦、現代のミクロ経済学、創文社、1997年。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71451 ＼ 71453	数学Ⅰ 1～3	選必	春学期	2	1	春藤 修二	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 線形代数入門

【講義内容】 多次元の量を扱うとき基本的な概念であるベクトル、およびそれに関連した行列、線形写像、行列式を学ぶ中で形式的な取扱いにも慣れることをめざす。

【講義計画】 ベクトルから始めて行列、線形写像、行列式の概念を、連立1次方程式の解法をタテ糸にして扱ってゆく。各回なるべく読み切りの形で、問題練習もできるだけとり入れて進めるので出席に努めること。

【評価方法】 筆記試験の結果によるが、出席状況が評価に反映される様工夫したい。

【テキスト】 開講時に指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71456 ＼ 71458	数学Ⅱ 1～3	選必	秋学期	2	1	春藤 修二	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 解析入門

【講義内容】 微分積分、主として1変数関数の微分法を講義する。初めからやっていくので初出の諸君も対応できるはずである。また高校数学で「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」を履修した諸君にはかなり重複した内容になるが、そうした諸君にも対応した内容を盛り込むつもりである。これまでの数学学習の経歴に関わらず出席することが望ましい。

【講義計画】 標準的な順序で、関数、極限、微分係数、導関数と諸公式、平均値の定理、関数の増減、関数の近似、微分積分学の基本定理、2変数関数、偏微分、極値問題と進めてゆく。

【評価方法】 筆記試験の結果によるが、出席状況が評価に反映される様工夫したい。

【テキスト】 開講時に指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71461 71466	経営学総論A 1・B 1	選必	春学期 秋学期	各2	1	大津 誠	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 アメリカの大学で使用されている経営学の入門的テキストを使用し、現代企業の活動について日米比較の観点から考察する。企業を有機的組織体として総合的に理解することに重点が置かれ、会計、財務、マーケティング、人事等個別の機能についての言及は最小限に止められる。主な内容は以下の通り。経営意思決定、組織計画、経営戦略、組織構造、組織設計、組織開発、経営倫理、国際経営。授業は日本語で行

われるが、教科書は英語であるため、ある程度の英語読解力が要求される。

【講義計画】 講義は週1回行われるが、2～3週間につき1章を終えるペースで進む。中間テスト等の時間を除き、全部で10章程度をカバーする予定である。

1. What Management Is
2. Evolution of Management
3. Managerial Environments
4. Managing in the Global Environment
5. Ethics and Social Responsibility
(以上春学期)
6. Decision Making and Problem Solving
7. Strategic and Operational Planning
8. Organizational Design, Authority, and Power
9. Organizational Change and Development
10. Management in the Future
(以上秋学期)

【評価方法】 春学期・秋学期共中間テストと期末試験による。配点は以下の通り。

中間テスト	40
定期試験	60
計	100

【テキスト】 Donald C. Mosley, Paul H. Pietri & Leon C. Megginson, *Management: Leadership in Action* (5th ed.), Harper Collins, 1996.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71462 71467	経営学総論A2・B2	営:選A 国:選必	春学期 秋学期	各2	2～4	岸田 民樹
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 「経営と環境適応」

【講義内容】 経営とは、変化する環境における、問題解決過程である。まず、経営学説の発展に伴って、この問題解決過程のあり方が、技術的効率を求めるものから、人間の相互作用を考慮するものへと、さらには、環境状況との関連で、効果的な組織を問題にするものへと、変わってきた。こうして、環境と組織との適合が、その企業を高業績へと導くことが明らかにされた。すなわち、企業は、第1に環境に適合した組織をデザインすることにより、そして第2に環境操作戦略によって、不確実性・依存性を処理して、環境に適応するのである。

【講義計画】 以上の内容を理解するために、
 (1) 経営学説の発展を、合理的モデル——自然体系モデル、Closed System Approach-Open Systems Approachの軸に沿って分類する。
 (2) 環境を3つのレベル(内部環境、特定環境、全般環境)に分類し、第1に技術・規模と組織構造の関連を明らかにし、第2に課業環境と分化・統合(組織過程)の関連を示し、第3にこの2つの環境が組織デザインに与える影響を考える。
 春学期は(1)の経営学説を中心に、秋学期は(2)の企業の環境適応を中心に講義を進める予定である。

【評価方法】 指定されたテーマについて一問、通常の試験と同じように問題を予め指定しないものを一問提出し、講義の全体についての理解度をチェックする。

【テキスト】 岸田民樹『経営組織と環境適応』(三嶺書房、1985)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71471 71472 71476 71477	会計原理Ⅰ1・2 会計原理Ⅱ1・2	選必	春学期 秋学期	各2	1	藤井 達敬 高橋 弘一	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 会計は、企業の経営活動を複式簿記の原理に従って情報化し、貸借対照表や損益計算書等の財務諸表によって報告するシステムである。会計情報の利用者には、経営者や管理者等の企業内部の利害関係者、債権者や投資家等の企業外部の利害関係者ばかりでなく、企画書を作成する社員や、顧客に自社製品の説明を行う営業マンも含まれる。会計情報の理解なくしては、現代の企業活動を理解することはできないし、また、会計情報がどのように作成されるかを知らなければ、会計情報の正しい分析はできない。本講義では、以下の観点から会計の原理について学習する。

【講義計画】

1. 会計制度と社会的意義
2. 複式簿記の原理
3. 企業活動と諸取引
4. 財務諸表の構造

また、会計原理の講義を補足するために、11月中旬に簿記検定3級程度のテストを行う。このテストの可否は、2年次以降の会計学の諸学科目を理解するためには、合格することが重要である。自習用テキストは適宜指示する。

【評価方法】 定期テスト、出席状況等を鑑み、総合的に評価する。同一年度に会計原理Ⅰ・Ⅱを履修する者は同一担当者のクラスを履修しなければならない。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71473 71478	会計原理Ⅰ3・Ⅱ3	選必	春学期 秋学期	各2	1	飯田 穆	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 企業会計の理論と制度

【講義内容】 会計的測定手法の学習をととして会計的思考方法を習得すると共に、日本における会計制度の特徴を理解することを課題とする。

【講義計画】

1. 複式簿記の原理
2. 会計諸規則・諸法令
3. 「企業会計原則」

【評価方法】 定期テスト

【テキスト】 講義で指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71491 ＼ 71495	基礎演習（プレゼминаール）	営:選必 国:不可	秋学期	2	2	高橋 弘一 徳永 俊史 湯本 祐司 石黒 真吾 安藤 真江
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 3・4年次で経営演習Ⅰ・経営演習Ⅱおよび卒業論文を履修し、各自の専門領域を確立するための準備として開設されている。経営学科の4コア制（組織・労務、財務、マーケティング、会計）の各コアから一人ないし二人の担当者が基礎演習を担当している。将来の専門領域についてのおよその体系、そして基本的知識の習得を目的としている。

【講義計画】 具体的な講義計画については、各教員毎に授業の最初の時間に示される。

【評価方法】 試験、レポート、授業参加度等の成績により評価される。

【テキスト】 適宜指示する。

【その他】 本年度、履修を希望する学生は、5月頃に実施する予備登録ガイダンスに必ず出席すること（詳細は後日掲示）。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71521	経営数学（ゲーム理論とその応用）	営:選B 国:自由	春学期	2	2~4	石黒 真吾
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 本講義では、企業の経営戦略を理論的に分析するうえでも有効なツールとなりうる「ゲーム理論」について解説する。「ゲーム理論」それ自体は応用範囲の広い数学の一分野であるが、講義では特に企業の経営行動（生産・販売行動や参入・退出行動など）および企業組織（労働契約や金融契約）についての理解を深めるためにゲーム理論の基礎を学習する。

【講義計画】 前半1) 戦略形ゲームの分析——支配戦略、ナッシュ均衡——
2) 展開形ゲームの分析——完全均衡、繰り返しゲーム——
後半1) 不完備情報ゲーム——ベイジアンナッシュ均衡——
2) 動学的不完備情報ゲーム——完全ベイズ均衡——
前・後半ともに多くの経営戦略についての例を加えて説明していく予定である。

【評価方法】 数回の宿題および期末試験により評価する。

【テキスト】 参考図書：ロバート・ギボンズ「経済学のためのゲーム理論入門」（福岡正夫・須田伸一訳）創文社
「はじめてのゲーム理論」中山幹夫（著）、有斐閣ブックス

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71531	統計学Ⅰ	営:選必 国:選	春学期	2	2	木村 美善
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 統計的方法はコンピュータの発達にともない、様々な分野で活発に用いられるようになってきている。この講義では統計学の基礎的概念と手法について解説し、それらがどのように応用されるかを考察する。論理

的厳密性よりも直観的理解に重点をおき、統計的なものの見方・考え方を身近な例を用いてわかりやすく説明する。

- 【講義計画】
1. 統計と社会
 2. 平均値と分散
 3. 度数分布
 4. 回帰と相関の分析
 5. 確率
 6. 確率変数と確率分布

【評価方法】 リポート20%、試験80%の割合で評価する。

【テキスト】 宮川公男著『基本統計学』（有斐閣）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71536	統計学Ⅱ	営:選 国:選	秋学期	2	2	木村 美善	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 「統計学Ⅰ」の学習を前提とし、標本に基づく推測統計学についてわかりやすく解説する。推測統計学の基礎理論と手法およびその応用について理解することが目的である。

- 【講義計画】
1. 主な確率分布
 2. 標本分布
 3. 推定
 4. 検定
 5. 回帰の推測統計理論

【評価方法】 リポート20%、試験80%の割合で評価する。

【テキスト】 宮川公男著『基本統計学』（有斐閣）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71541 71543	経営労務論A1・B [経営コース]	営:選・A 国:不可	春学期 秋学期	各2	2~4	高橋 弘司	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 経営組織における人的資源管理

【講義内容】 「人的資源管理論(Human Resource Management: HRM)」の立場から、経営組織(企業)における人事労務管理の基本的な考え方・施策・問題点について学ぶ。授業では、従来からの伝統的な人事労務管理論的視点よりも、主に米国において発展してきたHRMの視点が強調される。また、HRMの方法論的基礎としての「組織行動論(Organizational Behavior: OB)」、働く個人を長期的・時系列的に捉える「キャリア発達論(Career Development Theory: CDT)」についても理解を深める。

- 【講義計画】
- 第1回 オリエンテーション
 - 第2回 人的資源管理の機能と組織行動論
 - 第3回 人的資源管理における人間観の歴史の変遷
 - 第4回 働く個人のキャリア発達
 - 第5回 組織における個人の行動の基礎
 - 第6回 人員計画・採用・選抜
 - 第7回 組織への参入
 - 第8回 組織社会化と初期キャリア発達
 - 第9回 訓練・キャリア開発プログラム
 - 第10回 動機づけ理論の基礎と応用施策

- 第11回 職務態度
- 第12回 生産性とTQM
- 第13回 業績評価と報酬
- 第14回 懲罰と公平性
- 第15回 従業員の精神的健康とストレス
- 第16回 変容する日本企業の人的資源管理

【評価方法】 登録者数が多くなると予想されるので、各学期末試験によって評価を行う。また、クイズ（小テスト）を適宜行い、評価に反映させる。

【テキスト】 ステファン・P・ロビンズ（著）高木晴夫（監訳）『組織行動のマネジメント——入門から実践へ——』（ダイヤモンド社）を使用する予定。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71546 71548	経営財務論A・B1 [経営コース]	営:選・A 国:不可	春学期 秋学期	各2	2~4	徳永 俊史
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 企業は物を生産したり、サービスを販売することによって利益を得るために活動している。そして、経営者はたえずいかに合理的な意思決定を行うのか考えなければならない。経営財務論ではそうした意思決定を資金循環の側面からとらえていく。具体的には、1) 企業の実物投資、2) 企業の資金調達、3) 企業の資金運用について理解することを目標とする。

【講義計画】 経営財務論は大きく分けると、1) 企業財務論、2) 投資論から構成される。企業財務論での主要テーマは、1) 財務諸表から企業活動をどうとらえるのか、2) 設備投資におけるキャッシュフローをどのように評価するのか、3) 資本の選択をどのように行うか、である。一方、投資論での主要テーマは、1) 金融・資本市場とは何か、2) その市場内でどのような投資あるいは貯蓄を行うのか、3) 取引されている金融資産の価格がどのように形成されるか、である。授業計画は、企業財務論を前半、投資論を後半に行う予定である。

なお、授業では、1) 最近我々の身近なところで起きている企業経営に関する問題、2) 実際のデータを使った計算、等を取り上げながら進めていく方針である。

【評価方法】 授業中出される課題に対するレポートと最終試験により評価する。

【テキスト】 特にテキストは使用しなが、参考書として
井手正介・高橋正文『企業財務入門』日本経済新聞社、1992年。
その他、必要に応じて授業中に提示・配布します。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71551 71553	マーケティング論A・B	営:選・A 国:選必	秋学期	各2	2~4	中田 善啓
他の科目との関連	流通論及び企業戦略に関する科目。					他学科履修可

【副題】 マーケティングの進化

【講義内容】 企業が行っているマーケティング戦略を体系的に説明するが、特にその進化のメカニズムを明らかにし、ダイナミズムに力点をおきたい。マーケティングは市場を形成することによって、企業内、企業間、消費者間の取引の開始から終結までの活動をコントロールして、需要と供給のマッチングを達成することである。具体的にはチャネル、製品、価格、販売促進を中心に企業戦略と関連させて説明する。同時に、マーケティングはダイナミックに変化していくので、その進化のプロセスを明らかにしたい。

【講義計画】

1. マーケティングとは何か
2. 大量生産・大量販売システムのマーケティング
3. ネットワーク商品のマーケティング
4. 進化ゲームとマーケティング

5. マーケティング・チャネルと進化
6. 技術選択と新製品開発戦略
7. 技術の進化と進化
8. 流行のメカニズム
9. 取引慣行の進化とグローバル化

このような授業を通じて何よりもまず積極的に企業活動、経営問題、企業と社会・環境問題に関心をもつと同時に、明確な問題意識をもち、それを解明する分析能力を身につける手がかりにして欲しい。

【評価方法】 筆記試験、出席することが単位修得の必要条件である。

【テキスト】 中田善啓著『マーケティングの進化』(同文館)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71571	データ解析 (組織・労務)	営:選・B 国:選	秋学期	2	3・4	安藤 史江	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 本講義は、下記のテキストを用いて、企業経営に関する統計学やデータ処理の初歩を学習する。また、実際にその知識を活用できるようにするため、統計パッケージSASを用いた実習を行う。分析には、学生自ら作成する質問票によって収集されたデータを用いる。

【講義計画】 本講義では、以下の内容について、講義・実習を行う。

1. SASの基本的な操作方法について
2. 基礎統計量の算出
3. 推定と仮説検定
4. 相関分析
5. クロス表分析
6. 回帰分析

【評価方法】 宿題や期末レポートなど、総合的に評価する。

【テキスト】 高橋伸夫「経営統計入門—SASによる組織分析」東京大学出版会、1992

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71573	データ解析 (財務) [国際コース]	営:選・B 国:選	春学期	2	3・4	M. Bremer	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 Data Analysis

【講義内容】 The objective of this course is to prepare students to conduct basic research in business and finance. Students will use computers and statistical software. Regular attendance is necessary. Students will take one exam and complete two data analysis projects. Lectures will be in English. Assignments and exam answers should be written in English, however Japanese is acceptable.

- 【講義計画】
- 1 Introduction-What is statistics?
What is TSP?
What is a spreadsheet?
Setting up an email/computer account
 - 2 Summarizing Numeric Information
Introduction to Financial Data
 - 3 Probability
 - 4 Random Variables
 - 5 Sampling and Survey Methods
 - 6 Estimation (Point and Interval)

- 7 Hypothesis Testing
- 8 Regression and Correlation
- 9 Analysis of Variance
- 10 Final Exam

【評価方法】 Evaluation will be based on successful completion of assigned homework, two research projects, examination scores and attendance.

【テキスト】 Paul Newbold, *Statistics for Business and Economics*, 4 th edition, Prentice Hall, 1995.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71575	データ解析 (マーケティング)	営:選・B 国:選	春学期	2	3・4	湯本 祐司	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 マーケティング・リサーチ等で用いられる多変量解析について講義を行い、統計パッケージを用いた実習をおこなう。統計パッケージはSPSS (Windows版) を用いる予定である。統計パッケージの使い方については講義の中で解説する。

- 【講義計画】
1. マーケティングと多変量解析
 2. (重) 回帰分析
 3. 因子分析
 4. 主成分分析
 5. 判別分析
 6. クラスタ分析

【評価方法】 宿題70%、期末レポート30%。

【テキスト】 未定。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71577	データ解析 (会計)	営:選・B 国:選	秋学期	2	3~4	奥村 雅史	
他の科目との関連	会計科目、統計科目を履修することが望ましい。					他学科履修	不可

【副題】 財務データの分析と予測

【講義内容】 本講義は、表計算ソフトを利用して企業の財務データを分析、予測する技法を習得することを目標とする。わが国の上場企業が作成した有価証券報告書に記載された財務データを利用して、実習形式で講義をする。以下のようなテーマを扱う予定である。

- 【講義計画】
1. 表計算ソフトを利用した財務諸表分析
成長企業、倒産企業の分析
 2. 売上高の予測
 3. 利益の予測

【評価方法】 出席率、授業態度を考慮して総合的に評価する。

【テキスト】 適宜指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71579	データ解析（企業）	営:選・B 国:選	春学期	2	3・4	薫 祥 哲	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 経営業務のさまざまな意志決定を行う上で、数量的データの分析は不可欠である。単なる「平均値」や「分散」といった様な記述統計の概念以外に、統計的な「仮説検定」や「回帰分析」等の手法を理解することはデータの有効利用に多いに役立つ。講義では、一般的な統計学の概念と変数相互間の関係から始め、仮説の立て方とその仮説の統計的検定に進む。さらに、変数相互間の関係を表わすモデルを考え、最も広く使われている「最小二乗法」による回帰分析を学ぶ。時間があれば、ロジット・モデル等の「最尤法」に基づく回帰分析も取り扱う。主としては同時点内の横断面データの分析中心に講義を行い、時系列のデータは扱わない。個々の学生が実際にデータを分析できるように、PCの操作も説明する。統計パッケージとしては、PCをベースとしたTSP（Time Series Processor）と呼ばれる計量経済学用のプログラムを使用する。

【講義計画】 講義とPCを使った演習を平行して進める。教科書以外に必要な参考文献は、講義の時に配布する。

【評価方法】 レポートと練習問題の提出で評価

【テキスト】 和合肇・伴金美著『TSPによる経済データの分析』（東京大学出版会、1995）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71601 71603	経営組織論A・B	営:選・A 国:自由	春学期 秋学期	各2	2～4	安藤 史江	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 本講義では、春学期に経営組織論の基礎を広範に学習し、秋学期には経営組織論の主要テーマである組織学習論を中心に知識の修得をめざす。

【講義計画】 テキストに沿って、経営組織論の重要なトピックを一つ一つ押さえていく。必要に応じて新聞記事のコピーなどの資料を配布したり、具体例の紹介を行う。

【評価方法】 出席点・期末試験など、総合的に評価を行う。

【テキスト】 経営学入門シリーズ『経営組織』 金井壽宏著 日本経済新聞社、1999。

【その他】 秋学期のテキストは、後日改めて指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71609 71611	流通論A・B	営:選・A 国:自由	春学期 秋学期	各2	2～4	成生 達彦	
他の科目との関連	数学・経済原論を履修していることが望ましい。またマーケティング論、マーケティング・マネジメント及び企業論の履修を推薦する。					他学科履修	可

【副題】 流通の経済分析

【講義内容】 流通現象をミクロ経済理論のフレームワークを用いて検討する。春学期には、流通の役制を情報（伝達）機能を中心に説明するとともに、専売店制、再販制、テリトリー制さらには返品制等の流通系列化について検討する。秋学期は、企業間の競争関係を踏まえつつ戦略的行動を論じるとともに、日本の流通システムを経済的合理性の観点から評価する。

【講義計画】 テキストは14章あり、1回の講義で1章進む予定。内容はやや難しいが、分かりやすく説明するつもり

である。

流通論A

- 0 マーケティング・流通の経済理論
- 1 商人と市場
- 2 商品分類と流通経路
- 3 小売りの輪
- 4 専売店制
- 5 再販制
- 6 返品制

流通論B

- 1 長期マーケティング戦略
- 2 垂直的分離と取引制限
- 3 日本の小売り構造
- 4 日本の卸売り構造
- 5 書籍の流通
- 6 自動車の流通
- 7 日本の流通システム

【評価方法】 定期試験

【テキスト】 テキスト：成生達彦『流通の経済理論』（名古屋大学出版会）
 参考書：丸山雅祥『日本市場の競争分析』（創文社）
 有賀 健『日本的流通の経済学』（日本経済新聞社）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71613 71615	財務会計論A・B	営:選・A 国:自由	春学期 秋学期	各2	2~4	藤井 達敬	
他の科目との関連	会計原理が履修済であることが望ましい。					他学科履修	可

【講義内容】 財務諸表（Financial Statements）は企業の利害関係者に企業の実態についての情報を提供している。企業は財務諸表を定期的に公表することによって社会的責任の一端を果している。財務諸表による財務公開制度は商法、証券取引法によっても企業に義務づけられている。このように財務諸表の社会的意義は高いが、財務諸表を作成するには多くの会計的判断を伴う。即ち、会計的事実（経営活動もしくは企業活動）を数値化する過程で多くの会計的判断が必要とされる。会計的判断をするにあたってはその判断の拠り所即ち判断基礎を必要とする。この講義では会計的判断の基礎ともいべき近代会計理論について講ずるとともに企業会計原則、財務諸表規則、計算書類規則についても言及する。

- 【講義計画】
- I. 近代産業社会と企業会計
 - (1) 近代産業社会における企業
 - (2) 利害関係者、社会的責任と企業会計
 - II. 近代会計理論の特質
 - (1) 近代会計理論における利益測定構造
 - (2) 利益測定構造を支える諸原則
 - III. 損益計算書会計
 - (1) 収益の計上原則
 - (2) 費用の計上原則
 - IV. 資産会計
 - V. 負債会計
 - VI. 資本金会計

【評価方法】 春学期・秋学期の定期試験と年数回のレポートにより評価する。

【テキスト】 新井清光著『新版 財務会計論』（中央経済社刊）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71617 71619	株式会社社会論A・B	営:選・A 国:自由	春学期 秋学期	各2	2~4	高橋 弘一	
他の科目との関連	会計原理および財務会計論（同時履修可）を履修していることが望ましい。					他学科履修	可

【講義内容】 複式簿記をはじめ、企業会計の基礎知識を既に修得していることを前提に、大規模株式会社に特有の会計問題、ならびにそれらの財務報告制度について講義する。

【講義計画】	株式会社会計論A 1. 株式会社制度 (1) 2. 〃 (2) 3. 株式会社の資本の構成 4. 資本準備金 5. その他の資本剰余金 6. 株式会社の増資 (1) 7. 〃 (2) 8. 利益準備金 9. 株式会社の利益処分 (1) 10. 〃 (2) 11. 商法の配当制限とその計算 (1) 12. 〃 (2)	株式会社会計論B 1. 連結財務諸表制度 2. 連結会計の基礎的前提 3. 連結会計の一般原則・一般基準 4. 連結の範囲 5. 連結貸借対照表・連結損益計算書 6. 連結精算表 7. 親会社の子会社株式勘定と子会社の資本勘定の相殺消去 8. 連結調整勘定 9. 少数株主持分 10. 未達事項・連結会社間取引の整理 11. 未実現損益の消去 (1) 12. 〃 (2)
---------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価方法】 定期試験の成績に基づく絶対評価法に、相対評価法を加味して行う。毎回、出欠をとる予定。欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えると、履修成績評価は「欠席過多(S)」による不合格とする。

【テキスト】 主教材：未定
副教材：中央経済社編『会計法規集（最新版）』（中央経済社）

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
71621 71623	原価計算論A・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	奥村 雅史
他の科目との関連	会計関連科目を履修することが望ましい。					他学科履修 可

【講義内容】 製造業における原価計算システムは、製造に関連して発生する各種費用を分類集計し、最終的に製品製造コストを計算するシステムである。このシステムは企業が財務諸表を作成するための基礎的なデータを提出するのみならず、価格決定、原価管理、利益管理等の経営管理活動を支援するためのさまざまな管理データをも提供する。本講義では、原価計算における基本的な計算技法を説明したうえで、近年において注目されている活動原価計算や原価企画などの新しい手法についても概説する予定である。

【講義計画】

1. 費目別計算（材料費、労務費、経費の計算）
2. 部門別計算
3. 製品別計算（実際原価計算）
4. 原価管理と標準原価計算
5. 利益管理と直接原価計算
6. 近年の動向（活動基準原価計算、原価企画など）

【評価方法】 期末試験の成績を重視するが、出席率、授業態度等も考慮して評価する。

【テキスト】 桜井通晴著『経営のための原価計算』 中央経済社

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
71635 71637	企業論A・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	石黒 真吾
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 企業組織、企業間関係および市場行動

【講義内容】 企業の持つ諸側面——市場における生産・販売行動、労働・金融契約、垂直的取引関係など——を、ミクロ経済学・ゲーム理論の観点から分析する。アプローチは、理論モデルをベースにした数理的分析を中心にしているため、微分・積分および確率論についての基本的な概念を習得していることが望ましい（必要条件ではない）。

- 【講義計画】 春学期 市場における企業行動の分析
 1) 完全競争市場
 2) 余剰分析
 3) 不完全競争市場——クールノーモデル、参入阻止モデルなど——
 4) 政府による産業規制
 秋学期 企業組織の分析
 1) 情報の経済学——逆選択とモラル・ハザード——
 2) プリンシパル・エージェント理論——労働契約および垂直的取引関係——
 3) 不完備契約理論——企業の境界——

【評価方法】 数回の宿題および春・秋学期の試験により評価する。

【テキスト】 参考書：西村和雄「ミクロ経済学入門」2版、岩波書店
 参考図書：「現代のミクロ経済学：情報とゲームの応用ミクロ」丸山雅祥・成生達彦（著） 創文社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71639 71641	経営管理論A・B	営:選・A 国:自由	春学期 秋学期	各2	2~4	岸田 民樹
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 「組織の生成と革新のマネジメント」

【講義内容】 経営管理とは、組織における問題解決過程であり、いかに人間活動を調整し、環境に適応していくかという問題である。本年は、人間の活動が如何にして、組織化された活動へと組み上げられてゆくかという問題意識の下に、組織生成（Organizing）の議論をさまざまな角度から紹介し、さらにそれが革新へと至るプロセスを、あいまい性→多義性の把持・除去→不確実性の吸収による一義化（多元的適合）という軸に沿って分析する。

【講義計画】 以上の内容を理解するために、
 (1) 組織（Organization）を、組織化（Organizing）と制度化（Organized）の2つの面から捉え、現代のさまざまな組織形態（事業部制組織、株式会社、ネットワーク組織、ピアグループ、リゾーム、ホロン、曼荼羅、フラクタル）を識別し、その事例を紹介すると共に、
 (2) GM社、デュボン社の事業部制への組織革新、日本鋼管・八幡のBOFの導入、3M社のポスト・イットの開発などの事例をとり上げて、革新のプロセスを分析し、
 (3) 組織の生成・発展は、Organizaing→Organizedのサイクルの繰り返しによる組織革新のプロセスであるという考え方を明らかにする。

春学期は（1）のルースリー・カップルド・システムの特徴をもつさまざまな組織形態を中心に、秋学期は（2）（3）の多元的パラダイム・アプローチと革新のプロセスのモデルを中心に、講義を進める予定である。

【評価方法】 指定されたテーマについて一問、通常の試験と同じように問題を予め指定しないものを一問提出し、講義の全体についての理解度をチェックする。

【テキスト】 岸田民樹『経済組織と環境適応』（三嶺書房、1985）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71643 71645	経営環境論A・B	営:選・B 国:選必	春学期 秋学期	各2	営:2~4 国:3・4	薫 祥 哲
他の科目との関連	経済原論を履修していることが望ましい。					他学科履修可

【講義内容】 ミクロ経済理論に基づいて、環境資源の効率的な利用を考える。この場合、資源の最適利用は、その便益と費用の差（純便益）の最大化を意味する。環境資源管理に関する政策手段とその効率性、そして環境改善がもたらす経営的便益を検討する。環境資源管理の政策の必要性は多くの場合、その資源の所有権の

不明確さと、生産活動がもたらす外部不経済効果から生じている。実際の環境資源経営を決めていく上で
の経済理論及び費用便益分析がなしうる役割と、その限界を検討する。

- 【講義計画】 講義では以下のトピックスを扱う。
- 1) 汚染物による外部不経済効果
 - 2) 再生可能資源と枯渇性資源の最適利用
 - 3) 異世代間における資源配分ルールと、割引率
 - 4) 資源配分上のバレード最適条件
 - 5) 公共財としての環境資源管理
 - 6) 汚染物排出規制：排出課税とスタンダード設定
 - 7) 売買可能な汚染物排出権 (Marketable Permits)
 - 8) 環境便益の非市場評価法
 - 9) 環境財の使用価値、存在価値、オプション価値
 - 10) 環境リスク管理

【評価方法】 定期試験

【テキスト】 T.H Tietenberg, *Environmental and Natural Resource Economics, fourth edition*, Harper Collins Publishers, Inc., New York, 1996.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71647 71649	経営情報論A・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	2~4	黒岩 恵
他の科目 との関連						他学科 履修 可

【講義内容】 経営情報論は、現代の企業経営において極めて重要な情報システムを経営管理との関連で勉強します。社会や企業内の情報システムは、パソコンの高機能・低価格化とインターネットの普及により大きく変化しています。高度情報化社会と言われる現在、まず、一般学生も経験する社会生活における情報システムや企業の情報システムについて現状と課題について説明・考察します。さらに、これらの情報システムを実現する技術、企業経営と管理における情報システムの役割について説明します。企業経営の根幹となるデータベースと情報通信ネットワークの高度化が情報の共有化を促進し、企業の経営管理、業界構造、これからの仕事の仕方、を大きく変えていくことを皆さんと共に考察します。

- 【講義計画】
1. オリエンテーション (経営戦略と情報システム)
 2. 社会生活や企業における情報システム
 3. インターネット時代の情報システム
 4. 情報システム開発のプロセスと必要な技術
 5. コンピュータの原理と情報処理形態
 6. データ構造とデータベース
 7. 情報システム開発の組織とマネジメント
 8. 高度情報化社会における企業や社会の変化

【評価方法】 数回の講義終了時に提出するレポートと春・秋学期の試験により評価する。

【テキスト】 その都度レポートを配布、参考書は授業の時に指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71651	経営倫理1 [英語講義]	営:選・B 国:選必	春学期	2	営:2~4 国:3・4	P. LaForge
他の科目 との関連						他学科 履修 可

【副題】 Business Ethics through Meditation

【講義内容】 Business Ethics refers to the study of right and wrong conduct in the business world. Three relationships are especially important : to oneself, to the earth environment, and to others in the business world. The ethical

problems connected with each relationship will be taken up together with meditation. Ethical problems with one's own value system will be studied through nondiscursive meditation. Ethical problems with the environment will be studied in connection with semidiscursive mediation. Ethics in regard to others in the business world [individual and corporate responsibility, hiring, promotion, downsizing, mergers : customers, creditors, stockholders, government officials] will be taken up together with discursive meditation. There will be frequent reflection periods, case studies, and small group discussions. The course will be conducted in English.

- 【講義計画】
- Week One : Introduction to Ethics through nondiscursive meditation.
A definition of Business Ethics.
- Week Two : The historical background of Business Ethics.
Why do we need a course on Business Ethics in the Business School?
Continuation of nondiscursive meditation sessions together with small group discussion, reflection, and reporting in class.
- Week Three : Introduction of the environmental problem through semidiscursive meditation. Clarification of personal values through reflection. Readings on the personal values of managers and the personal responsibility of managers. Why ethical problems arise in business.
- Week Four : The necessity of an ethical vision for business people.
Continuation of semidiscursive meditation sessions [the clarification of the values of the individual through semidiscursive meditation sessions, followed by reporting from the Bible, a continuation of small group discussions and class reporting.
- Week Five : Corporate ethical values and responsibility introduced through discursive meditations. Biblical reflections together with case studies will be carried on in small groups, as time permits,
- Week Six and Conclusion, as time permits : as many case studies as possible. Cases will be analyzed through the values and principles of all the parties involved.
- Class activities will include three kinds of meditation [nondiscursive, semidiscursive, and discursive, each followed by reflection periods. Other activities include class reporting, small group discussion, articles on personal and corporate business ethics, case studies, and ethical ideals and rules from the Bible. Other topics will be introduced according to the wishes and needs of the students.

- 【評価方法】 The Marking System is as follows ;
Attitude in class
Attendance
Process Reporting
Reports

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71652	経営倫理2 [日本語講義]	営:選B 国:選必	秋学期	2	営:2~4 国:3・4	P. LaForge
他の科目との関連						他学科履修 可

【副題】 「Meditation」による経営倫理

【講義内容】 経営倫理は企業における「善」と「悪」の問題を取り扱う。経営倫理においては次の3つの関係が重要である。即ち、自己と自己の価値観との関係、地球との関係、及び企業世界との関係である。自己との倫理的関係は瞑想により、地球との倫理的関係は準瞑想により、他者との倫理的関係は黙想により学習する。他者との関係とは企業社会における個人の責任と企業の責任、採用、昇進、企業縮小・退職時における人間の尊厳、顧客・納入業者・株主等に対する倫理的行動、競争企業との関係および合併の問題を含む。学習者個人による熟考 (reflection) と小グループのディスカッションによって受講者の人間としての成長が期待されている。

【講義計画】 講義は日本語で行われる。

【評価方法】 授業態度
授業参加度
出席
レポート

【テキスト】 モラロジー研究所『モラロジー経営原論』広池学園出版部(1993年)及び必要に応じて英語による教材を配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71671 71673	労使関係論A・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	藤原 道夫	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 労使関係論Aでは、(1) 労働組合の定義、(2) 日本の企業別組合の特徴、(3) USA、英国、ドイツと日本との比較、(4) 団体交渉・苦情処理・労使協議の定義を学ぶ。
 労使関係論Bでは、(1) 労働組合の効果、(2) 社会・政治システムのアクターとしての労働組合、(3) 争議行為の経済学的意味、(4) 行動科学と交渉理論、(5) 日本の企業別組合の歴史を学ぶ。

【講義計画】 労使関係論A
 1 労働組合と3者間関係の労使関係
 2 労働組合の定義～労働組合法を参照して～
 3 労働組合の諸類型
 4 企業別(内)組合とは
 5 USA、英国、ドイツの労働組合
 6 労働組合の職場組織
 7 組合官僚制と労働組合
 8 社会的(企業外)組織としての労働組合
 9 団体交渉事項
 10 苦情処理
 11 労使協議
 12 まとめ
 定期試験100%。

労使関係論B
 1 社会・政治システムと労働組合
 2 産業民主主義
 3 ストライキの諸側面
 4 『労働組合の二つの顔』
 5 労働組合効果
 6 日本の賃金決定メカニズム
 7 行動科学の交渉理論
 8 斡旋・調停・仲裁
 9 企業別組合の変遷
 10 現代の日本における企業別組合の課題
 11 まとめ
 12 予備
 定期試験

【評価方法】 定期試験100%。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71683 71685	投資論A・B	営:選・B 国:自由	夏期 集中	各2	3・4	岩城 秀樹	
他の科目との関連	統計学Ⅰ・Ⅱ、経済原論Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい。経営財務論A・Bとの関連が深い。					他学科履修	可

【講義内容】 日本証券アナリスト協会検定試験科目、証券分析の1次試験レベル相当の証券投資のための基本的分析手法のいくつかについて講義する。

【講義計画】 以下の内容を順次講義していく。
 投資論A
 1. 確率・統計の復習
 確率変数
 平均・分散・共分散

- 回帰分析
- 2. 株式投資
 - 平均・分散アプローチ
 - CAPM (Capital Asset Pricing Model)
 - インデックス・モデル
 - APT (Arbitrage Pricing Theory)
- 3. 債券投資
 - 利回り計算
 - 金利リスクの測定 (デュアレーション (duration))
 - 投資戦略 (イミュニゼーション (immunization))

投資論B

- 1. 派生証券投資
 - 先渡と先物
 - オプション
 - ワラントと転換社債
 - スワップ
- 2. アセット・アロケーション
 - 戦術的アセット・アロケーション
 - 戦略的アセット・アロケーション
 - ダイナミック・アセット・アロケーション
- 3. パフォーマンス評価
 - 収益率の測定
 - 収益率とリスクによるパフォーマンス評価

【評価方法】 学期末テストによって評価する。

【テキスト】 投資論A
特にテキストは用いないが、参考書として以下を挙げておく。
1. 証券アナリスト協会編『証券投資論第2版』日本経済新聞社
2. 安達智彦、斎藤進『セミナー現代のポートフォリオ・マネジメント』同文館
投資論B
拙著『デリバティブ理論と応用』朝倉書店

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71693 71695	マーケティング・マネジメントA・B	営・選・B 国:自由	春学期	各2	3・4	湯本 祐司
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 マーケティング・マネジメントとはターゲットの顧客を満足させるような取引の実現を通じて企業の目的を達成するように企業が努力するプロセスであり、それは市場機会の分析・マーケティング戦略の開発・マーケティングプログラムの計画・マーケティングエフォートの管理の4つのステップよりなる。授業ではこのステップ順に体系的にマーケティング・マネジメントを解説する。

【講義計画】 マーケティング・マネジメントとは

1. 企業におけるマーケティングの役割
2. 品質・サービス・価値を通じて顧客の満足を創り出すこと
3. マーケット志向の戦略計画

マーケティング機会分析

1. 消費者行動の分析
2. 生産財市場の分析
3. 産業と競争企業の分析
4. マーケット・セグメンテーションとターゲット・マーケットの設定

マーケティング戦略の開発

1. 差別化とポジショニングの戦略
2. 製品ライフサイクルとマーケティング戦略
3. 競争ポジションと戦略

マーケティング・プログラムの計画

1. 製品ライン、ブランド、パッケージング
2. 価格
3. 流通チャネル
4. コミュニケーション

マーケティング・エフォートの管理

1. マーケティング活動の実行・評価・コントロール

【評価方法】 定期試験の成績に、出席状況を加味して評価する。

【テキスト】 P.コトラー著（村田昭治監訳）『マーケティング・マネジメント 第7版』プレジデント社、1996年
 和田充夫・恩蔵直人・三浦俊彦著『マーケティング戦略』有斐閣、1996年

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71705 71707	監査論A・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	友杉 芳正
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 監査には、公認会計士監査としての適正性監査、会計監査人監査としての適法性監査、監査役監査としての適法性監査・妥当性監査、内部監査人監査としての経済性監査・能率性監査・効率性監査・公正性監査などがあるが、それぞれの監査の存在意義と社会的有用性を理解する必要がある。
 監査論Aでは、いわゆる外部監査論を中心に講義する。制度監査としての証券取引法監査、商法特例法監査について説明する。
 監査論Bでは、いわゆる内部監査論を中心に講義する。企業経営の総合的管理手段としての役割について説明する。

【講義計画】 監査論Aでは、(1)監査の目的・機能・構造、(2)公認会計士、(3)監査基準、(4)監査リスク、(5)監査人の独立性、(6)正当な注意義務、(7)内部統制機構、(8)通常実施すべき監査手続、(9)監査計画、(10)組織的監査、(11)監査調書、(12)経営者確認書の入手、(13)監査意見形成、(14)特記事項、(15)監査報告書を取り上げる。
 監査論Bでは、(1)職務の執行の監査、(2)適法性監査、(3)妥当性監査、(4)事前・事後監査、(5)相当性監査、(6)監査役監査、(7)取締役会監査、(8)内部監査人監査、(9)内部統制、(10)会計・業務・経営監査、(11)情報システム監査、(12)内部監査機能の評価、(13)内部監査基準、(14)内部監査報告書、(15)内部監査制度を取り上げる。

【評価方法】 監査論A、監査論Bとも、出席、レポート、試験点をもとに総合的に判断する。欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えると、履修成績評価は「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 監査論A
 友杉芳正『スタンダード監査論』中央経済社
 監査論B
 津田秀雄『コーポレートガバナンスと内部監査機能』中央経済社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71709 71711	経営分析論A・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	飯田 穆
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 財務諸表分析

【講義内容】 経営分析は、企業の内外から企業活動の帰結を総合的に評価することを課題とするが、その中心となるのは財務諸表の比率分析であり、財務諸表上の数値のもつ意味を正しく理解することが前提である。財務諸表（キャッシュ・フロー計算書、連結財務諸表を含む）の構造とその測定値のもつ意味の理解に立って財務比率分析の手法を学習する。

【講義計画】 1. 財務諸表分析の意義
 2. 財務諸表の構造
 3. 収益性分析
 4. 安全性分析
 5. 生産性分析

6. 損益分岐点分析
7. キャッシュ・フロー分析

【評価方法】 定期試験による

【テキスト】 講義で指示する

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71713 71715	税務会計論A・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	藤井 達敬 他
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 社会における税金の役割と税務と会計との関係を理解させ、会計上必要な税務の基礎的知識・技術を習得させることを目的とする。日本公認会計士協会東海会所属の会計士グループにより、国税・地方税および国際税務の諸問題について講義する。
会計原理および財務会計論を履修済みの学生（約40名）を対象する。

【評価方法】 レポート

【テキスト】 その都度、資料を配布する。

【その他】

春学期			秋学期		
4/12	税務会計の基礎	木造眞博	10/4	所得税	竹尾雅芳
4/19	税務会計の基礎	木造眞博	10/11	所得税	竹尾雅芳
4/26	税務会計の基礎	木造眞博	10/18	所得税	竹尾雅芳
5/10	法人税1	水野信勝	10/25	所得税	竹尾雅芳
5/17	法人税1	水野信勝	11/8	国際税務	毛利弘基
5/24	法人税1	水野信勝	11/15	国際税務	毛利弘基
5/31	法人税1	水野信勝	11/22	国際税務	毛利弘基
6/7	消費税	山内和雄	11/29	国際税務	毛利弘基
6/14	法人税2	山内和雄	12/6	資産税	岡本政廣
6/21	法人税2	山内和雄	12/13	資産税	岡本政廣
6/28	法人税2	山内和雄	12/20	資産税	岡本政廣
7/5	法人税2	山内和雄	1/10	地方税	岡本政廣

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71721 71723	グローバル・ビジネス論A・B	営:選・B 国:自由	夏期集中	各2	3・4	中川 多喜雄
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 グローバル経営と現地経営

【講義内容】 全世界的な規模で経営活動を行う企業の経営の実際とあり方について論じる。全世界的（グローバル）な観点からの経営とともに、現地での経営のあり方という両側面からアプローチする。
講義の前半（A）では、フレームワークや理論の説明とともに、全世界的な観点からの経営に重点を置き、後半（B）では、職能的な各論と現地経営の諸問題に重点を置く。
アメリカ企業、日本企業、ヨーロッパ企業の実例を紹介しながら講義し、理論的なものよりは実践的なものと方向性の問題を中心とした。

- 【講義計画】
1. グローバル経営論のフレームワーク
 2. グローバル競争戦略
 3. グローバル経営構造
 4. グローバル経営と文化
 5. グローバル経営職能
マーケティング、生産、R&D、人的資源、財務、情報システム
 6. 現地経営論
投資環境、投資意思決定、技術移転・管理移転、現地化、現地経営の貢献

【評価方法】 試験とレポート

【テキスト】 使用せず。
参考書：吉原英樹編著『日本企業の国際経営』、同文館、1992

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71733	オペレーションズ・リサーチA	営:自由 国:自由	春学期	2	2~4	石崎 文雄
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 情報管理学科講義概要 75521 オペレーションズ・リサーチ概論Ⅰ 参照

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71735	オペレーションズ・リサーチB	営:自由 国:自由	秋学期	2	2~4	穴太 克則
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 情報管理学科講義概要 75601 オペレーションズ・リサーチ概論Ⅱ 参照

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71791 71792	現代産業論（総合商社論）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	松井 清治
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 日本の総合商社は、外国に類例を見ない独特な企業形態をもち、地球規模で活動している国際総合事業会社である。日本経済の発展とともに、貿易を中心とした商取引にとどまらず、時代と市場のニーズに対応して金融・物流・コンサルティングなど多様な機能を開発して、あらゆる産業分野にわたり事業投資活動を展開・拡大してきた。

総合商社は、明治初期に誕生したが日本の近代化、とくに第二次大戦後の経済・産業発展の縮図と言えるであろう。グローバルな情報化時代を迎え、また激変する内外の環境に対応して、総合商社はその機能と役割をどのように位置づけ、またどのような企業戦略を展開して行くのか、改めてその存在意義が問われている。

そこで、“総合商社とは何か”、日本の経済・貿易動向、経済協力および地球環境問題などについても考察しながら、現状と課題および21世紀の将来像を展望する。

- 【講義計画】
1. 総合商社とは：総合商社の特徴、活動と機能、日本経済と商社の役割
 2. 日本経済と総合商社機能の変遷：明治初期から今日までの日本経済の発展と商社の活動
 3. 世界経済と総合商社の活動：1世界貿易と商社の活動、国際協力への取り組み
 4. 総合商社と6大企業集団：外国から批判されている系列問題と総合商社の関係
 5. 総合商社の経営戦略と将来像：グローバル化の進展と日本の経済構造改革への対応

授業では、国際通商問題、地球環境問題あるいは日本の経済協力における商社の役割や活動のトピックスも取り上げ、またビデオによる商社活動の事例や35年余の商社の実務体験談などを交えて、商社活動の実態に触れることとする。

【評価方法】 授業への参加度(出席状況、質疑応答など)と期末にレポートの提出を求める。

【テキスト】 レジュメ「総合商社論」を配付、関連資料を随時配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71794 71795	現代産業論（都市銀行論）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	高木 夏樹
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 都市銀行の金融機能、収益構造を踏まえ、激変する経営環境と金融自由化に伴う業務内容の変化、経営戦略について研究する。

【講義計画】

- 第1回 銀行の金融機能
- 第2回 我が国の金融システム
- 第3回 短期金融市場とは
- 第4回 金融政策と都市銀行
- 第5回 企業分析と与信判断
- 第6回 国際金融リスク
- 第7回 国際金融1 資金環流
- 第8回 国際金融2 シンジケートローン
- 第9回 国際金融3 国際証券
- 第10回 デリバティブ
- 第11回 リスク管理とALM
- 第12回 日本版ビッグバン
- 第13回 これからの都市銀行像

【評価方法】 レポート提出

【テキスト】 講義の際、配布予定。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71797 71798	現代産業論（損害保険論）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	清登 緑郎
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 産業が高度に近代化した現代社会において、我々の日常の経済活動・社会生活に於ける「危険」は極めて多様化し、巨大化している。このような環境下で、損害保険は企業・団体・個人の諸活動に不可欠な役割を果たしている。また、近年はあらゆる分野での国際化・規制緩和が進んでいるが、損害保険も例外ではなく、自由化の大きな波に見舞われている。本講座では損害保険の実務・実態にも触れながら保険理論について講義し、損害保険事業に対する正しい認識の習得を目指す。

【講義計画】 上述の目標に向けて、

- (1) 損害保険の原理・仕組み・機能を法律・経済学の視点から多角的なアプローチを行う。
- (2) 日本損害保険業界の現状分析と主要商品の研究を行う。
- (3) 自由化・規制緩和の現状と今後の方向性について研究を行う。

という諸点を中心に講義を進めていく予定である。
極力平易で理解しやすい内容の講義を展開するので、全受講生の積極的な取組を期待する。

【評価方法】 レポートの提出を求める。

【テキスト】 「講義用レジュメ」を中心に、講義を進める。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71800 71801	現代産業論（電子・電機産業論）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	三田 良治	
他の科目 との関連						他学科 履修	可

【講義内容】 日本の産業界をリードする「電子・電機産業」の発展プロセス、現状と業界がかかえている経営課題を解説し、厳しい国際競争の中で生き残るための将来展望を考える。
特に、グローバル化、海外戦略について、多面的な考察を行う。
加えて実社会で役立つ経済・経営問題を都度理解させる。

【講義計画】

- ・日本の電子・電機産業の歴史（家電を中心に）
- ・日本の電子・電機産業の現状と経営課題
- ・日本企業のグローバル化の歴史と発展プロセス
- ・他国籍企業の経営分析（電機を中心に）
- ・日本の電子・電機産業のグローバル戦略
- ・業界の技術／生産／流通／販売に関する解説
- ・国際協調問題

【評価方法】 レポートと出席率

【テキスト】 随時プリント、資料を配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71803 71804	現代産業論（自動車産業論）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	願興寺 皓之	
他の科目 との関連						他学科 履修	可

【副題】 「日本の自動車産業の特質と課題」

【講義内容】 日本の自動車産業は今、量的にも質的にも一つの転換期を迎えつつある。一方では、国内生産についてこれ迄の様な右肩上りの成長が期待できず、他方では、海外生産の拡大により国際関係も単なる通商関係を越えて各国の産業社会政策も含めたものへと深化しつつある。
こうした経営環境変化の中で、自動車産業はどのような歴史的変質を迫られているのか。また、完成車メーカーを中心に今どういう取組みが進められているのか。こうした視点からの産業の実像を整理し、その中から中長期的な問題点と課題を抽出し対応の方向を考えてみたい。

【講義計画】 全体を次の3つに区分し、12回で構成する。
先ず最初に、自動車産業についての基本的な事実関係を確認した上で、それに相応しい産業の役割なり責任について、80年代の米国の空洞化と90年代の再出発を例に具体的に考える。
次いで、戦後の産業形成過程を製造販売そして労使関係の側面からレビューし、日本自動車産業の特質を明らかにする。
最後に、現在直面する課題を中長期的視点から整理し、将来に向けて健全な産業活動を持続していくための収益構造改革や商品企画・営業の革新そして人事労務政策と労働組合運動の方向を探る。併せて、新たな課題としての環境との共存を考え、最後に日本自動車産業の国際化の方向を展望する。

【評価方法】 毎回講義終了時に提出する自由意見と、テーマレポートから評価する。なお出席回数も参考とする。

【テキスト】 レジメを講義時に配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71806 71807	現代産業論（起業論）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	森 宏之 上野 允久
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

- 【講義内容】 米国は、80年代の長期不況をベンチャー企業の勃興により克服し、その後長期にわたる好景気を牽引している。
21世紀を迎えるに当たり、高度成長が終焉を迎えたわが国も、新しい産業構造への変化と景気回復はベンチャー企業の生成と勃興にかかっている。
わが国ベンチャー企業の最新の状況と具体例をもとに、米国事情とも対比しつつ具体的に解説する。

- 【講義計画】
- 第1回 ベンチャーとは何か（起業論概論）
講義の進め方
起業・ベンチャービジネスの定義
起業家精神
 - 第2回 日本における起業の現状
日本の中小企業
日本のベンチャーブームの歴史
米国のベンチャーの歴史
 - 第3回 ベンチャー企業の成長プロセス
企業のライフサイクル
失敗に学ぶ
 - 第4回 ベンチャー企業の経営資源
ベンチャーファイナンスの機能とシステム
経営体制と人材
 - 第5回 ビジネスプラン
ビジネスプランとは
ビジネスプランの中身と書き方
 - 第6回 ベンチャーキャピタルの日本・米国比較
ベンチャーキャピタルの役割
ベンチャーキャピタルの歴史
 - 第7回 日本と米国のベンチャー企業支援策
支援制度概観
公的支援の現状
エンジェル
 - 第8回 株式公開（1）
日本と米国の株式公開の歴史と現状
 - 第9回 株式公開（2）
資本政策と株式公開制度の条件とポイント
 - 第10回 ケーススタディ（1）
米国のベンチャー企業
 - 第11回 ケーススタディ（2）
日本のベンチャー企業の成功例・失敗例
ヤングベンチャー・シニアベンチャー
 - 第12回 ベンチャー企業とネットワーク
ベンチャー企業のネットワークのあり方
 - 第13回 ベンチャー企業の課題と留意点
法的問題およびリスク管理

- 【評価方法】 レポート2回の提出
1回目 課題として与える「キーワード」を含む自由レポート
2回目 テーマを与える
提出枚数 各回本文 A4ワープロ作成 2枚以上3枚以内

- 【その他】 講義のつど、配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
71809 71810	現代産業論（先輩経営者と語る）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	藤 井 達 敬 他
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 南山大学の卒業生で、企業経営の第一線でオーナー経営者として活躍している先輩が学生に語りかける。創業者であり、2代目経営者ありの布陣であるとともに、スモール・ビジネスのオーナーであるが、いずれも日々の判断がその企業に大きな影響をもつ人達が豊富な経験にもとづいて経営論、人生論を講義する。

【講義計画】

	講義日	講 師 卒業年次	会社名 業 種	役職	講義テーマ
1	4月18日 10月3日	山本光子 S54南山短大	ピープルスタッフ（株） 人材派遣業	専務 取締役	企業が求める人材
2	4月25日 10月10日	未定			
3	5月9日 10月17日	森 伸生 H10院	白銀屋（株） ガラス販売業	社長	可能性への挑戦 ～創造的人生の序曲～
4	5月16日 10月24日	未定			
5	5月23日 10月31日	九鬼綾子 S53米	ミックインターナショナル（株） 外国語サービス	社長	資本金 100万円で作った会社
6	5月30日 11月7日	尾関和成 S47営	（有）柏彌紙店 美術・小間紙	社長	ふすま紙って知ってる？
7	6月6日 11月14日	未定			
8	6月13日 11月21日	松本吉正 S29仏	（株）若尾綜合舞台 舞台TVの演出・照明・音響・美術	プロデュ ーサー	アートとマネー
9	6月20日 11月28日	佐藤久美 S51米	ナゴヤアベニュー 英文雑誌編集・発行	代表	外国人ライターから見た 名古屋・日本
10	6月27日 12月5日	林 薫 S38英	（株）大企 広告代理店	社長	ある広告マンの生きざま
11	7月4日 12月12日	小泉寿子 S44仏	（株）プロンプト コンピュータ教育	社長	仕事っておもしろい！ ～コンピュータとの出会い～
12	7月11日 12月19日	佐々木功 S42営	サンポッカサービス（株） 自動販売機商社	社長	つまるところ人と人
13	1月9日	未定			

【評価方法】 レポート

【テキスト】 その都度、配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71841) 71845	英語ビジネス論文作成指導1～5	営:不可 国:選	秋学期	各2	4	P. Binford M. Bremer A. Iaquinto M. Fenwick B. Deacon
他の科目 との関連						他学科 履修 不可

【副題】 English Thesis Tutorial 1～5

【講義内容】 The purpose of this course is to assist management students who are writing their tutorial papers in English. Students will learn how to improve their English writing style and how to organize and format a long research paper according to standard manuscript guidelines.
Word processor skills are required. Lectures will be in English.

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the semester.

【評価方法】 Depending on the teacher, the following criteria may be used for deciding grades :
Attendance and Participation
All written work
Oral Reports
If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 Texts to be decided by each teacher and announced later.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71851	外書講読 1	営:選必 国:不可	春学期	2	2	徳永 俊史
他の科目 との関連						他学科 履修 不可

【講義内容】 アメリカにおいて大ベストセラーとなった下記のテキストを用いて、世界の証券市場の中心であるニューヨーク（ウォールストリート）で活躍する人々がどのような理念のもと行動しているのかについて学ぶことを目標とする。尚、本講義は関連する他講義（経営財務論A、B等）に興味を持つきっかけとなることを望む。

【講義計画】 基本的には参加者の発表形式として授業を進め、必要に応じて解説を加える。

【評価方法】 割り当てられた部分の報告及び最終試験により評価する。

【テキスト】 Burton G. Malkiel, "A Random Walk Down Wall Street,"
W.W. Norton & Company, 1999.
必要な箇所をコピーして配布します。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71852	外書講読 2	営:選必 国:不可	春学期	2	2	飯田 穆
他の科目 との関連						他学科 履修 不可

【講義内容】 会計学の分野の英文献を講読する。

【評価方法】 出席、発表、試験を総合して評価する。

【テキスト】 FASB基礎概念ステートメントをコピーして配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71853	外書講読3	営:選必 国:不可	春学期	2	2	藤井 達敬
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 本講義では、下記のテキストを用いて、財務会計の特質、制度、基礎概念について講読する。さらに、財務会計における記録についてもとりあげる。1年次の「会計原理」について十分な理解があることが望ましい。

【講義計画】 テキストはその都度、プリントして配布するが、学生諸君に一定範囲を割り当て、その内容を発表してもらう。又、3回に1回は講義形態をとり、重要事項について説明したい。

【評価方法】 授業出席、小テスト（3回）、期末テストを総合評価する。

【テキスト】 J. J. WEYGANDT, D.E. KIESO, W.G. KELL, Accounting Principles, JOHN WILEY & SONS, INC. New York,

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71854	外書講読4	営:選必 国:不可	春学期	2	2	石黒 真吾
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副題】 経済学から見た経営問題

【講義内容】 下記のテキストを用いて、消費者行動、企業行動および市場メカニズムの働きなどについての基本的な理解を深めることを本講義の目的とする。とりわけ、経済学の立場から経営問題について考察するための分析手法を習得することを目的としている。

【講義計画】 基本的には参加者の発表形式として授業を進めるが、必要に応じて解説を加えるつもりである。

【評価方法】 割り当てられた部分の報告及び期末レポートにより評価する。

【テキスト】 D. Besanko et al, "Economics of Strategy," 2nd-Edition, Wiley & Sons, Inc, 1999.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71855	外書講読5	営:選必 国:不可	春学期	2	2	安藤 史江
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 本講義では、企業変革に関する基礎的知識の習得を目指す。そのため、英字新聞の記事や英語の雑誌の中から企業変革に関する比較的新しいものをピックアップし、その速読・多読を行う。

【講義計画】 企業変革に取り組んでいる事例、企業変革を行う際、参考となると思われる事例を順に取りあげていく。

【評価方法】 出席、発表、試験、レポートを総合して評価する。

【テキスト】 コピーした文献を、適宜配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71901)) 71903	英語Ⅱ（読解および作文）1・2・3	営:不可 国:必	通年	各4	2	P. Binford P. Mason M. Fenwick
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副題】 Reading and Writing II

【講義内容】 The course will review and continue to build upon and expand the reading and writing skills practiced in Reading and Writing I. Topics for compositions in this course may be more complex and more academically-oriented than the topics from Reading and Writing I. Some sections of the course may include a short research paper. All compositions must be typed.

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.

【評価方法】 The method of evaluation differs with each teacher. The possibilities are as follows :

- Written Examination
- Oral Examination
- Oral Report(s)
- Written Report(s)
- The use of reference materials is possible
- Audiovisual equipment for evaluation might be necessary
- Other methods of evaluation will be decided by each teacher

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of “S” (excessive absence).

【テキスト】 The text will be decided by each teacher.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71911	国際ビジネス論Ⅱ	営:自由 国:必	春学期	4	2	大津 誠
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 国際ビジネスの理解に必要な種々の経済理論を学んだ後、国際ビジネスをめぐる経済的・法的・経済的環境要因について学ぶ。この科目はそれ自体で完結するが、同時に国際ビジネス活動の諸側面について扱う国際ビジネス論Ⅲに対するイントロダクションとしての役割も果たす。

【講義計画】 アメリカの大学で使用されている国際ビジネスの標準的教科書を使用し、以下のトピックにつき1週間2回)につき1つずつ終えるペースで進む。

1. development of international trade
2. world investments
3. foreign trade theories
4. foreign investment theories
5. international trade agreements
6. foreign exchange and money markets
7. international monetary system
8. balance of payments
9. commercial policies
10. Political environment
11. legal environment
12. economic environment

【評価方法】 小テストと期末試験による。配点は以下の通り。
 小テスト 40 (20×2)
 定期試験 60
 計 100

【テキスト】 (予定) George M.Taoka & Don R.Beeman, *International Business : Environments, Institutions, and Operations*, Harper Collins, 1991.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71913	国際ビジネス論Ⅲ	営:自由 国:必	春学期	4	2	A. Iaquinto
他の科目との関連						他学科履修 可

【副題】 International Business Ⅲ

【講義内容】 This is a course on the management of multinational corporations (MNCs). The course will first briefly discuss the external environment facing the MNC, e.g., international trade, foreign exchange, international legal environment, etc.. Other topics to be surveyed will be the strategy and structure of MNCs, multinational human resources management, multicultural management, multinational finance, and technology transfer.

【講義計画】 This course will consist of lectures in English.

【評価方法】 One midterm and final examination.

【テキスト】 Reading List.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71916) 71919	英語Ⅲ (論文作成法) 1~4	営:不可 国:必	春学期 秋学期	各4	3	K. Yasuda D. Rines
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副題】 Academic Writing

【講義内容】 The goal of this course is to write a research paper of at least 2,500 words. The purpose is to develop the skills necessary to write a research paper. There will be activities and discussions designed to help students choose, focus on, organize, develop, and research their topics. Library research and documentation of sources will be emphasized. All homework, including the final paper, must be typed.

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of each semester.

【評価方法】 The following criteria will be used for deciding grades.

- Attendance and punctuality :
- Class participation
- Quizzes
- Homework
- Final research paper
- Oral report on research topic

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 The texts will be decided by each teacher and will be announced later.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71921)\n71924	テーマ・ディスカッション1～4	営:不可 国:必	春学期 秋学期	各4	3	P. Mason D. Rines
他の科目との関連						他学科履修: 不可

【副題】 Theme Discussion

【講義内容】 The purpose of this class is to develop high-level discussion and oral presentation skills needed for success in university classes and the business world. Most classroom time will be spent analyzing and discussing business cases from the textbook. During the semester students may have to do at least one formal presentation in English. Because this is an oral skills course, regular attendance and active participation in English are extremely important.

【講義計画】 Lesson plans may differ with each teacher and will be explained at the beginning of each semester.

【評価方法】 The method of evaluation differs with each teacher, but any of the following may be used to decide student grades:

- Attendance and punctuality
- Class participation
- Oral presentations
- Quizzes and exams
- Homework
- In-class compositions

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of “S” (excessive absence).

【テキスト】 No text is assigned.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71926 71927	国際経営基礎研究1・2	営:不可 国:必	春学期 秋学期	各2	3	大津 誠
他の科目との関連						他学科履修: 不可

【副題】 International Business Research Methods

【講義内容】 このクラスの目的は、国際経営研究1～5で作成する英文のペーパーを“研究論文”として仕上げるための基礎的手法を身につけることである。国際経営の分野における英文による実証的研究論文の多くは、一定の研究方法論に従って作成されている。そこでこのクラスでは、これらの論文を理解し、研究計画を設計するための第一歩として、経営学の標準的研究方法について学ぶ。主なトピックスは問題設定、文献調査、仮説設定、データ収集、データ分析などである。

【講義計画】

1. Research in Business
2. Scientific Thinking
3. The Research Process
4. Design Strategies
5. Measurement
6. Sampling Design
7. Survey Methods
8. Experimentation
9. Hypothesis Testing
10. Measures of Association

【評価方法】

1. 筆記試験（中間試験、期末試験）
2. 教室での報告の合計点

【テキスト】 C. William Emory, *Business Research Methods*, 5 th ed. Irwin, 1995.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
71931	国際経営研究1	営:不可 国:必	通年	4	4	大 津 誠	
他の科目との関連	国際経営基礎研究の履修を前提とする。同時に4年秋学期開講の英語ビジネス論文作成指導を履修すること。					他学科履修	不可

【副 題】 Research Seminar 1

【講義内容】 このクラスの目的は、経営戦略 (Strategic management) のアプローチによるケース分析を行い、それを内容とする英文によるtutorial paperを作成することにある。したがって春学期では経営戦略に関する代表的なアメリカのテキストを輪読 (グループ発表) し、ケース分析の手法を身につける。春学期終了時点でに各自の興味にしたがってケースの対象となる企業 (又はその他の団体) を決定する。夏休み中に、選んだ企業の直面する諸問題について資料収集を行う。秋学期は春学期中に学習したケース分析の手法により、選んだ企業のとるべき戦略について分析する。毎回3人のペースで個人発表を行う (発表のスケジュール表は秋学期の初日に配布する)。尚このクラスは必修科目であるから正当な理由がない限り欠席を認めない。

【講義計画】

春学期

- 第1週 Ch.1 Introduction to Strategic Management
- 第2週 Ch.2 Environmental Analysis
- 第3週 Ch.3 Establishing Organizational Direction
- 第4週 Ch.4 Strategy Formulation
- 第5週 Ch.5 Strategy Implementation
- 第6週 Ch.6 Strategic Control
- 第7週 Ch.7 Strategic Management in International Operations
- 第8週 Ch.8 Strategic Management : Social & Ethical Dimensions
- 第9週 Ch.9 Operating Foundations
- 第10週 Ch.10 Financial Foundations
- 第11週 Ch.11 Marketing Foundations
- 第12週 Ch.12 A Comprehensive Approach to Analyzing Strategic Problems & Cases

秋学期

- 第1週～第12週 個人発表

【評価方法】	出席及び参加 (通年)	24 (1点×24回)
	グループ発表 (春学期)	12 (3点×4回)
	Progress Report (7月28日)	8
	個人発表 (秋学期)	18 (6点×3回)
	Tutorial paper (1月31日)	40
	計	100

Tutorial paperは1月31日までに教務課に提出のこと。

【テキスト】 Samuel C. Certo & J. Paul Peter, *Strategic Management : A focus on Process (2 nd ed.)*, Irwin, 1993 .

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
71932	国際経営研究2	営:不可 国:必	通年	4	4	井 上 詔 三	
他の科目との関連	英語論文作成指導を必ず履修すること。					他学科履修	不可

【副 題】 International Business Research Seminar 2

【講義内容】 国際経営の分野のうちHuman Resource Management/Industrial Relationsの領域で、英文によるtutorial paperの作成を目的とする。そのために先ず国際経営基礎研究で学習した「研究方法論」に基づいて、経験

的研究を行ったHRM/IRの代表的論文を読解する。次にこのプロセスを通じて各自のテーマを決定し、テーマについての体系的文献調査を行う。最後にその結果を30ページ以上のtutorial paperにまとめる。したがってpaperの内容は第一義的には文献調査を想定している。なお、個々の学生の興味・進度によるが、文献調査の後に記述的研究や、データ収集・分析を要する実証的研究を試みることを推奨する。

- 【講義計画】
1. Introduction : The Research Process
 2. Literature Review
 3. Problem Formulation
 4. Designing the Study
 5. Writing the Paper (12月末までに草稿を3回作成する)

- 【評価方法】
1. 報告・討論
 2. research proposal
 3. tutorial paperによる。Tutorial paperは2001年1月31日までに教務課に提出のこと。

- 【テキスト】 Lawler, John, and others 1989. "Human Resource Strategies in Southeast Asia," *Research in Human Resource Management, suppl. 1*, JAI Press, pp. 201-221. 他、英文の研究論文を配布。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71933	国際経営研究3	営:不可 国:必	通年	4	4	加藤 英明	
他の科目との関連						他学科履修	不可

- 【副題】 Research Seminar 3

- 【講義内容】 The objective of this seminar is to write a tutorial paper in English in the areas of management. Students will prepare to write this paper by reading selected articles on finance and banking.

- 【講義計画】 This will be a seminar course. Students will write a proposal that describes their idea for a tutorial paper. Finally, students will write a tutorial paper of 30 pages or more. Each student will present his or her paper.

- 【評価方法】 Evaluation will be mainly based on completion of the tutorial paper although seminar participation will also be considered. Tutorial paper must be submitted to Kyomuka by January 31, 2001.

- 【テキスト】 This seminar does not have a required textbook.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71934	国際経営研究4	営:不可 国:必	通年	4	4	M. Bremer	
他の科目との関連						他学科履修	不可

- 【副題】 Research Seminar 4

- 【講義内容】 The objective of this seminar is to write a tutorial paper in English in the areas of international financial management, banking or capital markets. Students will prepare to write this paper by reading selected articles on finance and banking.

- 【講義計画】 This will be a seminar course. The seminar will start with students reading and presenting articles in finance and banking. Students will then write a proposal that describes their idea for a tutorial paper. Finally, students will write a tutorial paper of 30 pages or more. Each student will present his or her paper.

- 【評価方法】 Evaluation will be mainly based on completion of the tutorial paper although seminar participation will also be considered. The tutorial paper must be submitted to Kyomuka by January 31, 2000.

- 【テキスト】 This seminar does not have a required textbook. However, students will find the following books to be good

foundation for the seminar :
 Gordon J. Alexander and William F. Sharpe. *Fundamentals of Investments*, Prentice Hall.
 Richard A. Brealey and Stewart C. Myers, *Principles of Corporate Finance*, 4 th edition, McGraw Hill
 Thomas E. Copeland and J. Fred Weston, *Financial Theory and Corporate Policy*.
 David K. Eiteman, Arthur I. Stonehill and Michael H. Moffett, *Multinational Business Finance*, Addison
 Wesley.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71935	国際経営研究5	営:不可 国:必	通年	4	4	A. Iaquinto	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 Research Seminar 5

【講義内容】 This seminar is intended to prepare students to write a major research paper in international business. Students will be exposed to basic research methods and the process of organizing and writing a major paper of 30 pages or more.

【講義計画】 This course will consist of lectures in English.

【評価方法】 Research paper due on January 31, 2000, to be submitted to Kyomuka.

【テキスト】 Reading List

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71941	経営労務論A2 (国際コース)	営:不可 国:選必	秋学期	4	2~4	高橋 潔	
他の科目との関連	71541・71543経営労務論A1・Bとの重複履修は認めない。					他学科履修	可

【副題】 Personnel and Human Resource Management

【講義内容】 このクラスでは、人事・労務管理論に関する英語のテキストに基づいて、企業組織が抱える人事管理・労務管理の諸問題を体系的に学習する。テキストが英語であるため、欧米の理論・研究・事例などが多く紹介されるが、あわせてわが国における経営労務施策との対比を考えていく。受講者には英語の読解力が求められる。

【講義計画】

1. 戦略的人事管理 (strategic human resource management)
2. 雇用機会均等 (equal employment opportunity)
3. 採用・選抜 (selection and screening)
4. 面接 (employment interviews)
5. 研修・訓練開発 (training and development)
6. 人事考課 (performance appraisal)
7. キャリア開発 (career development)
8. 給与管理 (compensation management)
9. 労使関係 (labor relations)
10. 国際人事 (international human resource management)

【評価方法】 筆記試験 中間試験 50% 期末試験 50%

【テキスト】 Gary Dessler, *Human Resource Management* (7 th ed.), Prentice Hall, 1997.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71945	北米における経営	営:自由 国:選必	秋学期	4	2~4	M. Bremer
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 Business in North America

【講義内容】 This course is an introduction to business in North America. The course will start with a survey of the North American Economy with emphasis on taxes, regulations and the role of government in the economy, as well as the current macroeconomic situation. The course will discuss managerial practices and labor force characteristics of the American economy. The financial side of American business will be explored, emphasizing banking and financial institutions. The distribution system and marketing will also be discussed. Students will read English business periodicals. Students may write exam answers in Japanese by prior arrangement with the instructor.

【講義計画】

- 1 Introduction and Overview
Read : Outline, Parts I and II
- 2 Historical Perspective
Read : Outline, Part III
- 3 From Small Business to the Corporation
Read : Outline, Part III
Supplemental Material
- 4 The Role of Government
Read : Outline, Part VI
- 5 Financial Markets
Read : Outline, Part V
- 6 Banking, Monetary and Fiscal Policy
Read : Outline, Part VII
- 7 Distribution and Production
Supplemental Material
- 8 Marketing
Supplemental Material
- 9 Labor & Productivity
Read : Outline, Part IX
- 10 Foreign Trade/Multilateral Trade Agreements
Read : Outline, Part X
- 11 American Business and the Environment
- 12 American Business and Social Responsibility

【評価方法】 Attendance/Class Participation 10%
Midterm Exam 40%
Final Exam 50%
100%

【テキスト】 Robert L. McCan, *An Outline of the American Economy* and Lecture Notes

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71947	アジアにおける経営	営:自由 国:選必	夏期集中 秋学期	4	2~4	井上 詔三
他の科目との関連	国際ビジネス論Ⅱ、経営労務論を履修していることが望ましい。					他学科履修可

【副題】 Management in Asia

【講義内容】 東アジアは世界で最も高い成長率をとげてきた地域である。しかし、1997年中頃から変調をきたした国が多い。ビジネスの機会と危機がそれだけ多いということである。そこで、この地域の主要な国々の投資環境を検討する。次に、経営行動のうち、人的資源管理・労働関係 (HRM/IR) に焦点をしぼり、国際比

較の観点から考察する。日系多国籍企業にとっての投資先としての経営環境の善し悪しを評価する能力を高め、課題についての理解を深めるのが、この科目のねらいである。

- 【講義計画】
1. The International Business Environment
The Global Economy : World Investment Flows
The Cultural Environment of International Business
The Political Environment
 2. Asia-on-line : World Wide Web
 3. Case of Foreign Direct Investment
Japanese Multinational Companies
 4. Analytical Framework on HRM/IR
Industrial Relations Systems
Changing Directions of HRM
 5. The Development Experience of Asian NIEs and ASEAN Countries
 6. Studies of Industrial Organizations and Management
Korea : the chaebols
Taiwan : a case study of a large private enterprise
Hong Kong and Singapore HRM practices
Thailand and India : HRM/IR cases
 7. Contemporary Issues in HRM/IR in Global Companies

- 【評価方法】
1. 筆記試験（中間試験2回、期末試験）
 2. 教室での報告及び小プロジェクトレポート

【テキスト】 B. J. Punnett and D. A. Ricks, *International Business*, PWS-Kent, 1992. 他研究論文、資料を配布。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71953	経営財務論A2 [国際コース]	営:不可 国:選必	春学期	4	3・4	M. Bremer	
他の科目との関連	71546・71548経営財務論A・Bとの重複履修は認めない。					他学科履修	可

【副題】 Management Financial Theory (Corporate Finance)

【講義内容】 This course explores the tools and concepts of corporate finance. Specific topics covered will include time value of money, risk, return, cost of capital, capital budgeting and working capital management. Students are required to read business periodicals and to keep up with current business events. Regular attendance is required. Lectures will be in English.
Assignments and exams should be written in English, but it is acceptable to use Japanese.

- 【講義計画】
- 1 Stocks, Bonds and Financial Statements
 - 2 Present Value
 - 3 Risk and Return
 - 4 Working Capital Management
 - 5 Exchange Rates and Financial Management

【評価方法】 Grades will be determined on a relative basis with weights as follows :
Attendance/Class Participation 10% ; Homework 20% ; Midterm Exam 30% ; and Final Exam 40 %.

【テキスト】 Richard A. Brealey & Stewart C. Myers, *Principles of Corporate Finance*

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71955	国際人事管理論	営:自由 国:選必	春学期	4	3・4	井上 詔三	
他の科目 との関連	経営労務論（国際コース）の履修が望ましい。					他学科 履修	可

【副 題】 International Human Resource Management

【講義内容】 The purpose of this course is to explore the relationships between human resources, employee relations, and company economic success, both from practical and theoretical points of view. The course first explores the foundations of international human resource management, then focuses on the similarities and differences among global companies in terms of human resource management styles.

【講義計画】 Topic
 1. Introduction
 Going International
 Control Issues in International Companies
 2. Human Resource Management in International Companies
 Strategic Orientation
 3. Globalizing Management
 Management Styles-similarities/differences
 The Best Practice?
 4. Current Issues
 Japanization?
 Global Alliances
 “International Labour Standards”
 5. New challenges for Japanese Multinationals

【評価方法】 There will be two examinations : one midterm examination worth 30 percent of the final grade and final examination worth 50 percent. The remaining 20 percent of your grade will come from several written assignments which will be discussed further in class.

【テキスト】 A. M. Rugman and R. M. Hodgetts, *International Business*, McGraw Hill, 1995. 他から抜粋。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71957	国際財務論B2 [国際コース]	営:不可 国:選必	秋学期	4	3・4	M. Bremer	
他の科目 との関連						他学科 履修	可

【副 題】 International Financial Management

【講義内容】 This course deals with international financial markets and with the international dimensions of corporate financial management. The fundamental issue is how to deal with exchange rate movements.
 Lectures, exams and assignments will be in English. Assignments and exams should be written in English, but Japanese is also acceptable. Attendance is required .

【講義計画】
 1 Cash and Spot Exchange Markets
 2 Forwards, Futures and Options
 3 Purchasing Power and Interest Parity
 4 Foreign Exchange Risk and Exposure
 5 How to Hedge and Speculate
 6 Transfer Pricing and Country Risk
 7 Foreign Direct Investment
 8 The Instruments and Organization of International Trade

【評価方法】 Attendance/Class Participation 10% ; Homework/Case Studies 20% ; Midterm Exam 20% ; and, Final Exam 50%.

【テキスト】 Maurice D.Levi, *International Finance*, McGraw Hill, Third Edition, 1996. (The second edition is fine too.)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71959	日本の経営	営:自由 国:選必	秋学期	4	3・4	A. Iaquinto
他の科目との関連						他学科履修 可

【副題】 Japanese Business

【講義内容】 This is a course on Japanese business and management designed primarily for students enrolled in the International Course. After a brief review of the historical development of Japanese business institutions from the Tokugawa era through the 1960's, the class will examine contemporary Japanese business and management practices.

Major topics will include the political, economic and international environment of business, industrial structure, decision making processes, personnel practices, labor management relations, distribution systems, and financial markets. Throughout the course a central question will be addressed: What are the strengths and weaknesses of "Japanese style management"?

【講義計画】 This course will consist of lectures in English.

【評価方法】 One midterm and final examination.

【テキスト】 Reading List.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71961	国際経営戦略論	営:自由 国:選必	春学期	4	3・4	大津 誠
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 10年近くにも及ぶ構造的不況の中で、ますます多くの企業がグローバル化に生き残りをかけてきた。しかし昨今のアジアの金融危機はこれらの企業に大きな痛手をもたらしている。又、日本企業による海外進出のみでなく、昨今は外国企業によるM&Aが本格化してきた。その中において企業はこれまでの様に横並び意識に基づく意思決定ではなく、明確な経営戦略に基づく運営が強く求められている。したがってこのクラスの目的は企業の国際化戦略、特に多国籍企業のグローバル戦略について総合的・体系的に学ぶことにある。先ず経営戦略についての理論的考察を行い、引き続きグローバル戦略に関する諸問題について検討する。

【講義計画】

1. 環境分析
2. 組織の方向づけ
3. 戦略設定
4. グローバル戦略
5. グローバリゼーション可能性の診断
6. グローバル市場への参入
7. グローバル製品とサービスの設計
8. グローバル活動の位置決定
9. グローバルマーケティングの創出
10. グローバル競争
11. グローバル組織の構築
12. グローバル戦略の測定
13. グローバル戦略の分析

【評価方法】 中間テスト 40
定期試験 60

100

【テキスト】 George S. Yip, *Total Global Strategy*, Prentice Hall, 1995.
 その他必要に応じて教材（英文）を配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71963	国際マーケティング論	営:自由 国:選必	秋学期	4	3・4	A. Iaquinto
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 International Marketing

【講義内容】 This course covers some of the major topics in international marketing, including international marketing research, pricing, promotion, distribution, and product development.

【講義計画】 This course will consist of lectures in English.

【評価方法】 One midterm and one final examination.

【テキスト】 Reading List.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71971 71973	ビジネス英語A1・B1	営:自由 国:選	春学期 秋学期	各2	3・4	M. Fenwick
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 Business English

【講義内容】 Students may take either or both sections. Content will vary depending on class needs. Topics may include (1) how to give an effective business presentation using an OHP (overhead projector), blackboard, whiteboard, or handout; (2) how to conduct and participate in business meetings, including starting, contributing to, and closing the discussion; and (3) how to conduct interviews for hiring, evaluating, and collecting data. The class may also include practice in writing business letters. Prerequisites: Open to 3rd and 4th year business students. A 2.5 or higher GPA in English I and II (Conversation) or Sogo English I and II, or the approval of the instructor. A TOEFL Section I (Listening Comprehension) score of 48 or higher is strongly recommended. Enrollment: Limited to 40 students each semester.

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.

【評価方法】 Any of the following criteria may be used in deciding grades:
 —Written Examination
 —Oral Examination
 —Oral Report (s)
 —Written Report (s)
 —The use of reference materials is possible.
 —Audiovisual Equipment for evaluation might be necessary
 —Other methods of evaluation to be decided by the teacher

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 The text will be announced at a later date.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71972 71974	ビジネス英語A2・B2	営:自由 国:選	春学期 秋学期	各2	3・4	S. Petersen	
他の科目 との関連						他学科 履修	可

【副題】 Business English

【講義内容】 This course is designed to prepare students to take the TOEIC (Test of English for International Communication). The TOEIC is now being used by many companies for recruitment. Students will become familiar with the overall format of the test and will learn strategies and skills to improve their test scores.

Prerequisites : Open to 3rd and 4th year students. A 2.5 or higher GPA in English I and II (Conversation) or Sogo English I and II, or the approval of the instructor. A TOEFL Section I (Listening Comprehension) score of 48 or higher is recommended. Enrollment is limited to 40 students.

Note : In the second class meeting, students will take a shortened version of the test. It is therefore essential that you come to the second class meeting on time.

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of each semester.

【評価方法】 —Attendance and performance in class
—Two examinations

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 TOEIC strategies, by Susan Gilfert.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71981 71987	時事英語A～G	営:自由 国:選	春学期 秋学期	各2	3・4	S. Petersen P. Binford P. Tanner M. Fenwick	
他の科目 との関連						他学科 履修	可

【副題】 Current Topics

【講義内容】 The course will develop and practice speaking, listening and reading skills. Topics will be chosen by the class. Depending upon the topic chosen, each student will select articles from newspapers, magazines, and journals according to his/her interests.

The student is responsible for explaining and listening to presentation by other students. Active participation in discussions is required. There may also be a semester project.

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.

【評価方法】 The method of evaluation differs with each teacher. The possibilities are as follows :

- Written Examination
- Oral Examination
- Oral Report (s)
- Written Report (s)
- The use of reference materials is possible.
- Audiovisual equipment for evaluation might be necessary
- Other methods of evaluation to be decided by each teacher

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 No text required.